

学校コード F139310110546

注3

設置年度 令和 2年度

計画の区分： 大学の設置

注1

認可

注2

高知学園大学 健康科学部 管理栄養学科

## 【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正前大学設置基準適用)

学校法人高知学園  
令和5年5月1日現在

### 作成担当者

担当部局(課)名	事務局
職名・氏名	シムキョクチョモリハラセイジ 事務局長・森原 誠二
電話番号	088-840-1121 (内線: 1110)
(夜間)	088-840-1121 (内線: 1110)
e-mail	smorihara@kochi-gu.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に  
( )書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称: ◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合: 「〇〇大学」
- 学部の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合: 「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合: 「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、  
当該番号を記載してください。

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/toukei/mext\\_01087.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html)

# 目次

健康科学部

<管理栄養学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	18
4. 既設大学等の状況	19
5. 教員組織の状況	21
6. 附帯事項等に対する履行状況等	34
7. その他全般的事項	37

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人高知学園

## (2) 大学名

高知学園大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒780-0955  
高知県高知市旭天神町292-26

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(キラ マサヒト) 吉良 正人 (平成26年8月)	(タカセ ヒサシ) 高瀬 久志 (令和2年8月)	前任者の任期満了に伴い選任 (令和2年8月31日) (3)
学長	(チカモリ ケンスケ) 近森 憲助 (令和2年4月)	(オジマ カズヒサ) 小島 一久 (令和5年4月)	前任者の任期満了に伴い選任 (令和5年4月1日) (5)
学部長	(チカモリ ケンスケ) 近森 憲助 (令和2年4月)	(タカオカ エイジ) 高岡 榮二 (令和5年4月)	前任者の任期満了に伴い選任 (令和5年4月1日) (5)
学科長等	(ワタナベ ケイコ) 渡邊 慶子 (令和2年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)

令和5年度に報告する内容 → (5)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和5年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）」により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
健康科学部 管理栄養学科 学士(栄養学)	家政関係	4年	70人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	280人	-	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」）の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。）

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A 入学定員	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	70 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	70 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	70 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	70 ( ) [ ]	0.77 倍	倍	0.68 倍	倍	
志願者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	77 ( ) [ ]	( ) [ ]	66 ( ) [ ]	( ) [ ]	67 ( ) [ ]	( ) [ ]	72 ( ) [ ]	( ) [ ]					
受験者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	74 ( ) [ ]	( ) [ ]	66 ( ) [ ]	( ) [ ]	67 ( ) [ ]	( ) [ ]	71 ( ) [ ]	( ) [ ]					
合格者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	73 ( ) [ ]	( ) [ ]	66 ( ) [ ]	( ) [ ]	66 ( ) [ ]	( ) [ ]	71 ( ) [ ]	( ) [ ]					
B 入学者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	54 ( ) [ ]	( ) [ ]	59 ( ) [ ]	( ) [ ]	54 ( ) [ ]	( ) [ ]	49 ( ) [ ]	( ) [ ]					
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	0.77	-	0.84	-	0.77	-	0.7	-					

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ ( )内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
- ・ また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
- ・ なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和6年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
- ・ なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	-	-	-	-	54	-	59	-	54	-	49	-	
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
2年次			-	-	-	-	49	-	56	-	46	-	
			[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
			( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
3年次					-	-	-	-	46	-	51	-	
					[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
					( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
4年次							-	-	-	-	45	-	
							[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
							( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
計	-	-	-	-	54	-	108	-	156	-	191	-	
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について、**内数で記入**してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、**内数で記入**してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	— 人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	— 人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	54 人	5 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	5 人	0 人	就学意欲低下(3)、進路変更(就職1)、(進学1)
令和3年度	108 人	6 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	3 人	0 人	進路変更(学業不振2)、(進学1)
			令和3年度	3 人	0 人	就学意欲低下2)、体調不良(1)
令和4年度	156 人	14 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	1 人	0 人	学業不振(1)
			令和3年度	5 人	0 人	就職(3)、就学意欲低下(1)、体調不良(1)
			令和4年度	8 人	0 人	体調不良(3)、就学意欲低下(2)、進路変更(就職1、進学1)、 経済的理由(1)
令和5年度	191 人	0 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
合計		25 人		25 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)  
 ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)  
 ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。  
 ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。  
 ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{-} = \boxed{-} \% \quad \text{数式が入力されています。}$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{-} = \boxed{-} \% \quad \text{数式が入力されています。}$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{5}{54} = \boxed{9.25} \% \quad \text{数式が入力されています。}$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{6}{108} = \boxed{5.55} \% \quad \text{数式が入力されています。}$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{14}{156} = \boxed{8.97} \% \quad \text{数式が入力されています。}$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{191} = \boxed{0} \% \quad \text{数式が入力されています。}$$

(注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

<健康科学部 管理栄養学科>

### (1) ① 授業科目表

#### 【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養・基礎科目	人間と文化の探求	生命倫理学 心理学 平和と友愛論 美術の世界 国際文化人間論	3前 1前 1前 1前 1前	2 2 1 1 1		1					1	
	現代社会の探求	社会学 日本国憲法 社会福祉論 社会とメディア 経営学基礎 マーケティング論 ヒューマンコミュニケーション	1前 1前 1後 1後 1後 2前 1後	2 2 2 2 2 2 2							1	
	自然科学の探求	基礎化学 有機化学 生物学概論 物理学概論 数学概論 統計学	1前 1前 1前 1前 1前 1後	2 2 2 2 2 2		1	1				1	
	地域と環境の探求	健康科学 生活と環境 災害と生活 土佐の歴史 土佐の食文化	1前 1前 1後 1前 1前	1 2 2 1 1							1	
	日本語科目	日本語文章表現 日本語口頭表現 日本語読解	1前 1前 2前	1 1 1							1	
	外国語科目	英語文章表現 英語読解 日常英会話 英語プレゼンテーション 中国語の基礎 中国語会話	1前 1後 1後 2後 1後 2前	1 1 1 1 1 1		1	1				1	
	情報科目	情報機器の活用と発信 情報機器とプレゼンテーション 情報倫理	1前 2前 2後	1 1 1							1	
	キャリア科目	キャリアデザインⅠ（基礎） キャリアデザインⅡ（応用）	1前 2後	1 1							1	
	健康の探求	運動と健康 生涯スポーツ実技	1前 1前	1 1							1	
		小計（39科目）	-	17	39	0	3	1	0	0	0	26
	専門導入科目	管理栄養士導入教育論 健康栄養学 チーム医療概論 地域医療概論 救急救命法 医療リスクマネジメント 医学英語演習 医学英語特論	1後 1後 1後 4前 1後 2前 3前 4前	1 1 1 1 1 1 1 1		2 1 2 3 2 2 1 1	1					10
		小計（8科目）	-	5	3	0	3	2	1	0	0	21
	専門基礎科目	社会・環境と健康	公衆衛生学Ⅰ（総論） 公衆衛生学Ⅱ（各論） 公衆衛生学実習 地域包括ケアシステム論	2前 2後 3前 3前	2 2 1 2							1
		小計（4科目）	-	7								2

#### 【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養・基礎科目	人間と文化の探求	生命倫理学 心理学 平和と友愛論 美術の世界 国際文化人間論	3前 1前 1前 1前 1前	2 2 1 1 1		1					6	
	現代社会の探求	社会学 日本国憲法 社会福祉論 社会とメディア 経営学基礎 マーケティング論 ヒューマンコミュニケーション	1前 1前 1後 1後 1後 2前 1後	2 2 2 2 2 2 2							1	
	自然科学の探求	基礎化学 有機化学 生物学概論 物理学概論 数学概論 統計学	1前 1前 1前 1前 1前 1後	2 2 2 2 2 2		1	1				1	
	地域と環境の探求	健康科学 生活と環境 災害と生活 土佐の歴史 土佐の食文化	1前 1前 1後 1前 1前	1 2 2 1 1							1	
	日本語科目	日本語文章表現 日本語口頭表現 日本語読解	1前 1前 2前	1 1 1							1	
	外国語科目	英語文章表現 英語読解 日常英会話 英語プレゼンテーション 中国語の基礎 中国語会話	1前 1後 1後 2後 1後 2前	1 1 1 1 1 1		1	1				1	
	情報科目	情報機器の活用と発信 情報機器とプレゼンテーション 情報倫理	1前 2前 2後	1 1 1							1	
	キャリア科目	キャリアデザインⅠ（基礎） キャリアデザインⅡ（応用）	1前 2後	1 1							1	
	健康と	運動と健康 生涯スポーツ実技	1前 1前	1 1							1	
		小計（39科目）	-	17	39	0	3	1	0	0	0	30
	専門導入科目	管理栄養士導入教育論 健康栄養学 チーム医療概論 地域医療概論 救急救命法 医療リスクマネジメント 医学英語演習 医学英語特論	1後 1後 1後 4前 1後 2前 3前 4前	1 1 1 1 1 1 1 1		2 1 2 3 2 2 1 1	1					10
		小計（8科目）	-	5	3	0	3	2	2	0	0	23
	専門基礎科目	社会・環境と健康	公衆衛生学Ⅰ（総論） 公衆衛生学Ⅱ（各論） 公衆衛生学実習 地域包括ケアシステム論	2前 2後 3前 3前	2 2 1 2							1
		小計（4科目）	-	7								2

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	生化学Ⅰ(機能)	1後	2			1					
		生化学Ⅱ(代謝)	1後	2			1					
		生化学実験	2前	1			1					
		人体の構造学	1後	2			1					
		人体の機能学	2前	2			1					
		人体の構造学実習	2前	1			1					
		人体の機能学実習	2後	1								1
		疾病論Ⅰ(総論)	2前	2			1					
		疾病論Ⅱ(各論)	2後	2			1					
		運動生理学	3前	2								1
		運動生理学実習	3後	1								1
	小計(11科目)	—	18			2	1	0	0	0	2	
	食べ物と健康	食品学Ⅰ(総論)	1前	2			1					
		食品学Ⅱ(各論)	1後	2			1					
食品学実験		1後	1			1						
食品衛生学		1後	2			1						
食品衛生学実験		2前	1			1						
食品加工学実習		3後	1								1	
調理科学		1前	2								1	
調理学実習Ⅰ(基礎)		1前	1								1	
調理学実習Ⅱ(応用)		1後	1								1	
小計(9科目)	—	13	0	0	1	1	0	0	0	3		
基礎栄養学	基礎栄養学	1後	2			1						
	基礎栄養学実験	2前	1			1						
	小計(2科目)	—	3	0	0	1	0	0	0	0	0	
	応用栄養学	応用栄養学Ⅰ(栄養管理)	2前	2			1					
応用栄養学Ⅱ(母性・成長期)		2前	2			1						
応用栄養学Ⅲ(成人・高齢期)		2後	2			1						
応用栄養学実習		2後	1			1						
小計(4科目)		—	7	0	0	0	1	0	0	0	0	
栄養教育論	栄養教育論Ⅰ(基礎)	2後	2			1						
	栄養教育論Ⅱ(応用)	3前	2			1						
	栄養教育論Ⅲ(実践)	4前	2			1						
	栄養教育論実習	3前	1			1						
	小計(4科目)	—	7	0	0	0	1	0	0	0	0	
臨床栄養学	臨床栄養学Ⅰ(総論)	2後	2								1	
	臨床栄養学Ⅱ(管理・評価)	3前	2								1	
	臨床栄養学Ⅲ(栄養食事療法)	3前	2			1						
	臨床栄養学実習Ⅰ(基礎)	3前	1			1						
	臨床栄養学実習Ⅱ(応用)	3後	1			1						
	病棟栄養管理学	3後	2								1	
	口腔ケアと栄養管理	3後	1			1					1	
	がん栄養療法	3後	1			1					1	
小計(8科目)	—	12	0	0	1	0	0	0	0	4		
公衆栄養学	公衆栄養学Ⅰ(総論)	2後	2			1						
	公衆栄養学Ⅱ(各論)	3前	2			1						
	地域公衆栄養学実習	3後	1			1						
	小計(3科目)	—	5	0	0	1	0	0	0	0	0	
給食経営管理論	給食経営管理論Ⅰ(総論)	2前	2				1					
	給食経営管理論Ⅱ(各論)	2後	2				1					
	給食経営管理実習Ⅰ(基礎)	3前	1				1					
	給食経営管理実習Ⅱ(応用)	3前	1				1					
	小計(4科目)	—	6	0	0	0	0	1	0	0	0	
総合演習	臨地実習事前・事後指導	3通	1			2	1					
	管理栄養士総合演習	4後	2			6	3	1			3	
	小計(2科目)	—	1	2	0	6	3	1	0	0	3	
臨地実習	臨地実習Ⅰ(給食の運営)	3前	1				1					
	臨地実習Ⅱ(給食経営管理論)	3後	1				1					
	臨地実習Ⅲ(臨床栄養学)	3後	1			1						
	臨地実習Ⅳ(臨床栄養学)	3後	1		1							
	臨地実習Ⅴ(公衆栄養学)	3後	1		1							
	小計(5科目)	—	3	2	0	2	0	1	0	0	0	
科目発展	卒業研究	4通		4		6	3	1				
	小計(1科目)	—	0	4	0	6	3	1	0	0	0	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	生化学Ⅰ(機能)	1後	2			1					
		生化学Ⅱ(代謝)	1後	2			1					
		生化学実験	2前	1			1					
		人体の構造学	1後	2			1					
		人体の機能学	2前	2			1					
		人体の構造学実習	2前	1			1					
		人体の機能学実習	2後	1								1
		疾病論Ⅰ(総論)	2前	2			1					
		疾病論Ⅱ(各論)	2後	2			1					
		運動生理学	3前	2								1
		運動生理学実習	3後	1								1
	小計(11科目)	—	18			2	1	0	0	0	2	
	食べ物と健康	食品学Ⅰ(総論)	1前	2			1					
		食品学Ⅱ(各論)	1後	2			1					
食品学実験		1後	1			1						
食品衛生学		1後	2			1						
食品衛生学実験		2前	1			1						
食品加工学実習		3後	1								1	
調理科学		1前	2								1	
調理学実習Ⅰ(基礎)		1前	1								1	
調理学実習Ⅱ(応用)		1後	1								1	
小計(9科目)	—	13	0	0	1	1	0	0	0	3		
基礎栄養学	基礎栄養学	1後	2						1			
	基礎栄養学実験	2前	1						1			
	小計(2科目)	—	3	0	0	0	0	1	0	0	0	
	応用栄養学	応用栄養学Ⅰ(栄養管理)	2前	2					1			
応用栄養学Ⅱ(母性・成長期)		2後	2					1				
応用栄養学Ⅲ(成人・高齢期)		2後	2					1				
応用栄養学実習		2後	1					1				
小計(4科目)		—	7	0	0	0	0	1	0	0	0	
栄養教育論	栄養教育論Ⅰ(基礎)	2後	2					1				
	栄養教育論Ⅱ(応用)	3前	2					1				
	栄養教育論Ⅲ(実践)	4前	2					1				
	栄養教育論実習	3前	1					1				
	小計(4科目)	—	7	0	0	0	0	1	0	0	0	
臨床栄養学	臨床栄養学Ⅰ(総論)	2前	2								1	
	臨床栄養学Ⅱ(管理・評価)	2後	2								1	
	臨床栄養学Ⅲ(栄養食事療法)	3前	2			1						
	臨床栄養学実習Ⅰ(基礎)	3前	1			1						
	臨床栄養学実習Ⅱ(応用)	3後	1			1						
	病棟栄養管理学	3後	2								1	
	口腔ケアと栄養管理	3後	1			1					1	
	がん栄養療法	3後	1			1					1	
小計(8科目)	—	12	0	0	1	0	0	0	0	4		
公衆栄養学	公衆栄養学Ⅰ(総論)	2後	2			1						
	公衆栄養学Ⅱ(各論)	3前	2			1						
	地域公衆栄養学実習	3後	1			1						
	小計(3科目)	—	5	0	0	1	0	0	0	0	0	
給食経営管理論	給食経営管理論Ⅰ(総論)	2前	2					1				
	給食経営管理論Ⅱ(各論)	2後	2					1				
	給食経営管理実習Ⅰ(基礎)	3前	1					1				
	給食経営管理実習Ⅱ(応用)	3前	1					1				
	小計(4科目)	—	6	0	0	0	0	1	0	0	0	
総合演習	臨地実習事前・事後指導	3通	1			2	1					
	管理栄養士総合演習	4後	2			7	3	2			3	
	小計(2科目)	—	1	2	0	7	3	2	0	0	3	
臨地実習	臨地実習Ⅰ(給食の運営)	3前	1					1				
	臨地実習Ⅱ(給食経営管理論)	3後	1					1				
	臨地実習Ⅲ(臨床栄養学)	3後	1			1						
	臨地実習Ⅳ(臨床栄養学)	3後	1		1							
	臨地実習Ⅴ(公衆栄養学)	3後	1		1							
	小計(5科目)	—	3	2	0	2	0	1	0	0	0	
科目発展	卒業研究	4通		4		6	3	2				
	小計(1科目)	—	0	4	0	6	3	2	0	0	0	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
家庭科専門科目	家庭経営学（家庭経済学を含む）	1後	2								1
	家族関係学	2前		2							1
	被服学	1後		2		1					
	被服製作実習	2前		1		1					
	住居学（製図を含む）	2前		2							1
	保育学	2前		2							1
	家庭看護学	1後		2							1
	家庭電気・家庭機械	2後		2							1
	家庭情報処理	2後		1							1
	家庭科教育法Ⅰ	1前		4		1					
家庭科教育法Ⅱ	2通		4		1						
小計（11科目）		—	2	22	0	1	0	0	0	0	7
栄養教諭専門科目	学校栄養教育論Ⅰ	1後		2							1
	学校栄養教育論Ⅱ	2前		2							1
	小計（2科目）		—	0	4	0	0	1	0	0	0
教職専門科目	教育原理	1前		2							1
	教職及び教育の制度・経営論	1前		2							1
	教育心理学	2後		2		1					
	発達心理学	2後		2		1					
	特別支援教育入門	3後		1							3
	教育課程総論	1後		2		1					1
	道德教育の指導法	2前		2		1					
	総合的な学習の時間の指導法	2後		1							2
	特別活動の指導法	2後		1							1
	教育の方法及び技術	2前		1							1
	生徒指導の理論と方法	1後		2		1					
	教育相談	2後		2							1
	進路指導及びキャリア教育の理論と方法	2後		2							1
	教育実習Ⅰ	3前		2				1			
	教育実習Ⅱ	4前		2				1			
	教育実習事前事後指導	3前		1				1			
	教職実践演習（中・高 家庭科）	4後		2							1
	栄養教育実習	3前		1		1					1
	栄養教育実習事前事後指導	3前		1		1					1
	教職実践演習（栄養教諭）	4後		2							2
小計（20科目）		—	0	33		2	0	1	0	0	12
合計（137科目）		—	106	109	0	11	4	2	0	0	69
卒業要件及び履修方法											
卒業要件単位 124単位 ①教養・基礎科目は、13科目17単位が必修、選択科目より17単位以上、合計34単位以上を修得する。 ②専門導入科目は、必修5科目5単位を修得する。 ③専門基礎科目は、必修24科目38単位を修得する。 ④専門科目は、必修29科目44単位に加え、「臨地実習Ⅳ（臨床栄養）」または「臨地実習Ⅴ（公衆衛生学）」の内いずれかを選択必修とし、合計45単位を修得する。 ⑤家庭科専門科目は、必修1科目2単位を修得する。 ⑥卒業要件単位数は合計124単位以上を修得する。 （履修科目の登録の上限：48単位（年間））											

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
家庭科専門科目	家庭経営学（家庭経済学を含む）	1後	2								1
	家族関係学	2前		2							1
	被服学	1後		2		1					
	被服製作実習	2前		1		1					
	住居学（製図を含む）	2前		2							1
	保育学	2前		2							1
	家庭看護学	1後		2							1
	家庭電気・家庭機械	2後		2							1
	家庭情報処理	2後		1							1
	家庭科教育法Ⅰ	1前		4		1					
家庭科教育法Ⅱ	2通		4		1						
小計（11科目）		—	2	22	0	1	0	0	0	0	7
栄養教諭専門科目	学校栄養教育論Ⅰ	1後		2							1
	学校栄養教育論Ⅱ	2前		2							1
	小計（2科目）		—	0	4	0	0	1	0	0	0
教職専門科目	教育原理	1前		2							1
	教職及び教育の制度・経営論	1前		2							1
	教育心理学	2後		2		1					
	発達心理学	2後		2		1					
	特別支援教育入門	3後		1							3
	教育課程総論	1後		2		1					2
	道德教育の指導法	2前		2		1					
	総合的な学習の時間の指導法	2後		1							1
	特別活動の指導法	2後		1							1
	教育の方法及び技術	2前		1							3
	ICT活用教育の理論と実践	2後		1							1
	生徒指導の理論と方法	1後		2		1					
	教育相談	2後		2							1
	進路指導及びキャリア教育の理論と方法	2後		2							2
	教育実習Ⅰ	3前		2					1		
	教育実習Ⅱ	4前		2					1		
	教育実習事前事後指導	3前		1					1		
	教職実践演習（中・高 家庭科）	4後		2					1		1
	栄養教育実習	3前		1		1					1
	栄養教育実習事前事後指導	3前		1		1					1
教職実践演習（栄養教諭）	4後		2							2	
小計（21科目）		—	0	34		2	0	1	0	0	16
合計（138科目）		—	106	110	0	12	4	3	0	0	78
卒業要件及び履修方法											
卒業要件単位 124単位 ①教養・基礎科目は、13科目17単位が必修、選択科目より17単位以上、合計34単位以上を修得する。 ②専門導入科目は、必修5科目5単位を修得する。 ③専門基礎科目は、必修24科目38単位を修得する。 ④専門科目は、必修29科目44単位に加え、「臨地実習Ⅳ（臨床栄養）」または「臨地実習Ⅴ（公衆衛生学）」の内いずれかを選択必修とし、合計45単位を修得する。 ⑤家庭科専門科目は、必修1科目2単位を修得する。 ⑥卒業要件単位数は合計124単位以上を修得する。 （履修科目の登録の上限：48単位（年間））											

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養・基礎科目	人間と文化の探求	生命倫理学	3前	2							1
	心理学	1前		2		1					
	平和と友愛論	1前	1								1
	美術の世界	1前		1							1
	国際文化人間論	1前		1		1					
	現代社会の探求	社会学	1前		2						1
	日本国憲法	1前		2							1
	社会福祉論	1後	2								1
	社会とメディア	1後		2							1
	経営学基礎	1後		2							1
	マーケティング論	2前		2							1
	ヒューマンコミュニケーション	1後		2							1
	自然科学の探求	基礎化学	1前	2			1				
	有機化学	1前		2			1				
	生物学概論	1前		2							1
	物理学概論	1前		2							1
	数学概論	1前		2							1
	統計学	1後		2							1
	地域と環境の探求	健康科学	1前	1							1
	生活と環境	1前		2							1
	災害と生活	1後		2							1
	土佐の歴史	1前		1							1
	土佐の食文化	1前	1								1
	日本語科目	日本語文章表現	1前	1							1
	日本語口頭表現	1前		1							1
	日本語読解	2前		1							1
	外国語科目	英語文章表現	1前	1			1				
	英語読解	1後		1			1				
	日常英会話	2後	1								1
	英語プレゼンテーション	2後		1			1				
中国語の基礎	1後		1							1	
中国語会話	2前		1							1	
情報科目	情報機器の活用と発信	1前		1						1	
情報機器とプレゼンテーション	2前	1								1	
情報倫理	2後		1							1	
形成	キャリアデザインI (基礎)	1前	1							1	
キャリアデザインII (応用)	2後		1							1	
健康と	運動と健康	1前	1							1	
生涯スポーツ実技	1前		1							1	
小計 (39科目)		-	17	39	0	3	1	0	0	0	25
専門導入科目	管理栄養士導入教育論	1後	1			2	1				
健康栄養学	1後	1				1					10
チーム医療概論	1後	1				2					10
地域医療概論	4前	1			3	2	1				2
救急救命法	1後		1								5
医療リスクマネジメント	2前	1									1
医学英語演習	3前		1								1
医学英語特論	4前		1								1
小計 (8科目)		-	5	3	0	3	2	1	0	0	23
専門基礎科目	社会・環境と健康	公衆衛生学I (総論)	2前	2							1
公衆衛生学II (各論)	2後	2									1
公衆衛生学実習	3前	1									1
地域包括ケアシステム論	3前	2									1
小計 (4科目)			7								2
専門基礎科目	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	生化学I (機能)	1後	2			1				
生化学II (代謝)	1後	2				1					
生化学実験	2前	1				1					
人体の構造学	1後	2				1					
人体の機能学	2前	2				1					
人体の構造学実習	2前	1				1					
人体の機能学実習	2後	1									1
疾病論I (総論)	2前	2				1					
疾病論II (各論)	2後	2				1					
運動生理学	3前	2									1
運動生理学実習	3後	1									1
小計 (11科目)		-	18			2	1	0	0	0	2

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養・基礎科目	人間と文化の探求	生命倫理学	3前	2							1
	心理学	1前		2		1					
	平和と友愛論	1前	1								1
	美術の世界	1前		1							1
	国際文化人間論	1前		1		1					
	現代社会の探求	社会学	1前		2						1
	日本国憲法	1前		2							1
	社会福祉論	1後	2								1
	社会とメディア	1後		2							1
	経営学基礎	1後		2							1
	マーケティング論	2前		2							1
	ヒューマンコミュニケーション	1後		2							1
	自然科学の探求	基礎化学	1前	2			1				
	有機化学	1前		2			1				
	生物学概論	1前		2							1
	物理学概論	1前		2							1
	数学概論	1前		2							1
	統計学	1後		2							1
	地域と環境の探求	健康科学	1前	1							1
	生活と環境	1前		2							1
	災害と生活	1後		2							1
	土佐の歴史	1前		1							1
	土佐の食文化	1前	1								1
	日本語科目	日本語文章表現	1前	1							1
	日本語口頭表現	1前		1							1
	日本語読解	2前		1							1
	外国語科目	英語文章表現	1前	1			1				
	英語読解	1後		1			1				
	日常英会話	1後	1								1
	英語プレゼンテーション	2後		1			1				
中国語の基礎	1後		1							1	
中国語会話	2前		1							1	
情報科目	情報機器の活用と発信	1前		1						1	
情報機器とプレゼンテーション	2前	1								1	
情報倫理	2後		1							1	
形成	キャリアデザインI (基礎)	1前	1							1	
キャリアデザインII (応用)	2後		1							1	
健康と	運動と健康	1前	1							1	
生涯スポーツ実技	1前		1							1	
小計 (39科目)		-	17	39	0	3	1	0	0	0	25
専門導入科目	管理栄養士導入教育論	1後	1			2	1				
健康栄養学	1後	1				1					10
チーム医療概論	1後	1				2					10
地域医療概論	4前	1			3	2	1				2
救急救命法	1後		1								5
医療リスクマネジメント	2前	1									1
医学英語演習	3前		1								1
医学英語特論	4前		1								1
小計 (8科目)		-	5	3	0	3	2	1	0	0	23
専門基礎科目	社会・環境と健康	公衆衛生学I (総論)	2前	2							1
公衆衛生学II (各論)	2後	2									1
公衆衛生学実習	3前	1									1
地域包括ケアシステム論	3前	2									1
小計 (4科目)			7								2
専門基礎科目	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	生化学I (機能)	1後	2			1				
生化学II (代謝)	1後	2				1					
生化学実験	2前	1				1					
人体の構造学	1後	2				1					
人体の機能学	2前	2				1					
人体の構造学実習	2前	1				1					
人体の機能学実習	2後	1									1
疾病論I (総論)	2前	2				1					
疾病論II (各論)	2後	2				1					
運動生理学	3前	2									1
運動生理学実習	3後	1									1
小計 (11科目)		-	18			2	1	0	0	0	2

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門基礎科目	食べ物と健康 食品学Ⅰ(総論) 食品学Ⅱ(各論) 食品学実験 食品衛生学 食品衛生学実験 食品加工学実習 調理科学 調理学実習Ⅰ(基礎) 調理学実習Ⅱ(応用) 小計(9科目)	1前	2			1							
		1後	2			1							
		1後	1			1							
		1後	2				1						
		2前	1				1						
		3後	1									1	
		1前	2									1	
		1前	1									1	
		1後	1									1	
		—	—	13	0	0	1	1	0	0	0	3	
基礎栄養学	基礎栄養学 基礎栄養学実験 小計(2科目)	1後	2			1							
		2前	1			1							
		—	—	3	0	0	1	0	0	0	0		
		応用栄養学	2前	2				1					
			2後	2				1					
			3前	2				1					
			2後	1				1					
		—	—	7	0	0	0	1	0	0	0		
		栄養教育論	栄養教育論Ⅰ(基礎) 栄養教育論Ⅱ(応用) 栄養教育論Ⅲ(実践) 栄養教育論実習 小計(4科目)	2後	2				1				
				3前	2				1				
4前	2						1						
3前	1						1						
—	—			7	0	0	0	1	0	0	0		
臨床栄養学	臨床栄養学Ⅰ(総論) 臨床栄養学Ⅱ(管理・評価) 臨床栄養学Ⅲ(栄養食事療法) 臨床栄養学実習Ⅰ(基礎) 臨床栄養学実習Ⅱ(応用) 病棟栄養管理学 口腔ケアと栄養管理 がんと栄養療法 小計(8科目)	2前	2								1		
		2後	2								1		
		3前	2			1							
		3前	1			1							
		3後	1			1							
		3後	2								1		
		3後	1			1					1		
		3後	1			1					1		
		—	—	12	0	0	1	0	0	0	0		
		公衆栄養学	公衆栄養学Ⅰ(総論) 公衆栄養学Ⅱ(各論) 地域公衆栄養学実習 小計(3科目)	2後	2				1				
3前	2						1						
3後	1						1						
—	—			5	0	0	1	0	0	0	0		
給食経営管理論	給食経営管理論Ⅰ(総論) 給食経営管理論Ⅱ(各論) 給食経営管理実習Ⅰ(基礎) 給食経営管理実習Ⅱ(応用) 小計(4科目)	2前	2					1					
		2後	2					1					
		3前	1					1					
		3前	1					1					
—	—	6	0	0	0	0	1	0	0				
総合演習	臨地実習事前・事後指導 管理栄養士総合演習 小計(2科目)	3通	1			2		1					
		4後	2			6	3	1			3		
—	—	1	2	0	6	3	1	0	0	3			
臨地実習	臨地実習Ⅰ(給食の運営) 臨地実習Ⅱ(給食経営管理論) 臨地実習Ⅲ(臨床栄養学) 臨地実習Ⅳ(臨床栄養学) 臨地実習Ⅴ(公衆栄養学) 小計(5科目)	3前	1					1					
		3後	1					1					
		3後	1			1							
		3後	1	1		1							
		3後	1	1		1							
—	—	3	2	0	2	0	1	0	0				
科目発展	卒業研究 小計(1科目)	4通	4			6	3	1					
		—	—	0	4	0	6	3	1	0	0		
家庭科専門科目	家庭経営学(家庭経済学を含む) 家族関係学 被服学 被服製作実習 住居学(製図を含む) 保育学 家庭看護学 家庭電気・家庭機械 家庭情報処理 家庭科教育法Ⅰ 家庭科教育法Ⅱ 小計(11科目)	1後	2								1		
		2前	2								1		
		1後	2			1							
		2前	1			1							
		2前	2			2					1		
		2前	2			2					1		
		1後	2			2					1		
		2後	2			2					1		
		2後	1			1					1		
		1前	4			4					1		
		2通	4			4					1		
—	—	2	22	0	1	0	0	0	0				
栄養教育論専門科目	学校栄養教育論Ⅰ 学校栄養教育論Ⅱ 小計(2科目)	1後	2								1		
		2前	2								1		
		—	—	0	4	0	0	1	0	0	0		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門基礎科目	食べ物と健康 食品学Ⅰ(総論) 食品学Ⅱ(各論) 食品学実験 食品衛生学 食品衛生学実験 食品加工学実習 調理科学 調理学実習Ⅰ(基礎) 調理学実習Ⅱ(応用) 小計(9科目)	1前	2			1							
		1後	2			1							
		1後	1			1							
		1後	2				1						
		2前	1				1						
		3後	1									1	
		1前	2									1	
		1前	1									1	
		1後	1									1	
		—	—	13	0	0	1	1	0	0	0	3	
基礎栄養学	基礎栄養学 基礎栄養学実験 小計(2科目)	1後	2			1							
		2前	1			1							
		—	—	3	0	0	1	0	0	0	0		
		応用栄養学	2前	2				1					
			2後	2				1					
			3前	2				1					
			2後	1				1					
		—	—	7	0	0	0	1	0	0	0		
		栄養教育論	栄養教育論Ⅰ(基礎) 栄養教育論Ⅱ(応用) 栄養教育論Ⅲ(実践) 栄養教育論実習 小計(4科目)	2後	2				1				
				3前	2				1				
4前	2						1						
3前	1						1						
—	—			7	0	0	0	1	0	0	0		
臨床栄養学	臨床栄養学Ⅰ(総論) 臨床栄養学Ⅱ(管理・評価) 臨床栄養学Ⅲ(栄養食事療法) 臨床栄養学実習Ⅰ(基礎) 臨床栄養学実習Ⅱ(応用) 病棟栄養管理学 口腔ケアと栄養管理 がんと栄養療法 小計(8科目)	2前	2								1		
		2後	2								1		
		3前	2			1							
		3前	1			1							
		3後	1			1							
		3後	2								1		
		3後	1			1					1		
		3後	1			1					1		
		—	—	12	0	0	1	0	0	0	0		
		公衆栄養学	公衆栄養学Ⅰ(総論) 公衆栄養学Ⅱ(各論) 地域公衆栄養学実習 小計(3科目)	2後	2				1				
3前	2						1						
3後	1						1						
—	—			5	0	0	1	0	0	0	0		
給食経営管理論	給食経営管理論Ⅰ(総論) 給食経営管理論Ⅱ(各論) 給食経営管理実習Ⅰ(基礎) 給食経営管理実習Ⅱ(応用) 小計(4科目)	2前	2					1					
		2後	2					1					
		3前	1					1					
		3前	1					1					
—	—	6	0	0	0	0	1	0	0				
総合演習	臨地実習事前・事後指導 管理栄養士総合演習 小計(2科目)	3通	1			2		1					
		4後	2			6	3	1			3		
—	—	1	2	0	6	3	1	0	0	3			
臨地実習	臨地実習Ⅰ(給食の運営) 臨地実習Ⅱ(給食経営管理論) 臨地実習Ⅲ(臨床栄養学) 臨地実習Ⅳ(臨床栄養学) 臨地実習Ⅴ(公衆栄養学) 小計(5科目)	3前	1					1					
		3後	1					1					
		3後	1			1							
		3後	1	1		1							
		3後	1	1		1							
—	—	3	2	0	2	0	1	0	0				
科目発展	卒業研究 小計(1科目)	4通	4			6	3	1					
		—	—	0	4	0	6	3	1	0	0		
家庭科専門科目	家庭経営学(家庭経済学を含む) 家族関係学 被服学 被服製作実習 住居学(製図を含む) 保育学 家庭看護学 家庭電気・家庭機械 家庭情報処理 家庭科教育法Ⅰ 家庭科教育法Ⅱ 小計(11科目)	1後	2								1		
		2前	2								1		
		1後	2			1							
		2前	1			1							
		2前	2			2					1		
		2前	2			2					1		
		1後	2			2					1		
		2後	2			2					1		
		2後	1			1					1		
		1前	4			4					1		
		2通	4			4					1		
—	—	2	22	0	1	0	0	0	0				
栄養教育論専門科目	学校栄養教育論Ⅰ 学校栄養教育論Ⅱ 小計(2科目)	1後	2								1		
		2前	2								1		
		—	—	0	4	0	0	1	0	0	0		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教職専門科目	教育原理	1前	2								1
	教職及び教育の制度・経営論	1前	2								1
	教育心理学	2後	2			1					
	発達心理学	2後	2			1					
	特別支援教育入門	3後	1								3
	教育課程総論	1後	2			1					2
	道徳教育の指導法	2前	2			1					
	総合的な学習の時間の指導法	2後	1								1
	特別活動の指導法	2後	1								1
	教育の方法及び技術	2前	1								3
	ICT活用教育の理論と実践	2後	1								1
	生徒指導の理論と方法	1後	2			1					
	教育相談	2後	2								1
	進路指導及びキャリア教育の理論と方法	2後	2								2
	教育実習Ⅰ	3前	2					1			
	教育実習Ⅱ	4前	2					1			
	教育実習事前事後指導	3前	1					1			
教職実践演習(中・高 家庭科)	4後	2					1				
栄養教育実習	3前	1			1					1	
栄養教育実習事前事後指導	3前	1			1					1	
教職実践演習(栄養教諭)	4後	2								2	
小計(21科目)	-	0	34		2	0	1	0	0	16	
合計(138科目)	-	106	110	0	11	4	2	0	0	74	
卒業要件及び履修方法											
卒業要件単位 124単位 ①教養・基礎科目は、13科目17単位が必修、選択科目より17単位以上、合計34単位以上を修得する。 ②専門導入科目は、必修5科目5単位を修得する。 ③専門基礎科目は、必修24科目38単位を修得する。 ④専門科目は、必修29科目44単位に加え、「臨地実習Ⅳ(臨床栄養)」または「臨地実習Ⅴ(公衆衛生学)」の内いずれかを選択必修とし、合計45単位を修得する。 ⑤家庭科専門科目は、必修1科目2単位を修得する。 ⑥卒業要件単位数は合計124単位以上を修得する。  (履修科目の登録の上限：48単位(年間))											

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教職専門科目	教育原理	1前	2								1
	教職及び教育の制度・経営論	1前	2								1
	教育心理学	2後	2			1					
	発達心理学	2後	2			1					
	特別支援教育入門	3後	1								3
	教育課程総論	1後	2			1					2
	道徳教育の指導法	2前	2			1					
	総合的な学習の時間の指導法	2後	1								1
	特別活動の指導法	2後	1								1
	教育の方法及び技術	2前	1								3
	生徒指導の理論と方法	1後	2					1			
	教育相談	2後	2								1
	進路指導及びキャリア教育の理論と方法	2後	2								2
	教育実習Ⅰ	3前	2						1		
	教育実習Ⅱ	4前	2						1		
	教育実習事前事後指導	3前	1						1		
	教職実践演習(中・高 家庭科)	4後	2						1		
栄養教育実習	3前	1			1					1	
栄養教育実習事前事後指導	3前	1			1					1	
教職実践演習(栄養教諭)	4後	2								2	
小計(20科目)	-	0	33		2	0	1	0	0	15	
合計(137科目)	-	106	109	0	11	4	2	0	0	73	
卒業要件及び履修方法											
卒業要件単位 124単位 ①教養・基礎科目は、13科目17単位が必修、選択科目より17単位以上、合計34単位以上を修得する。 ②専門導入科目は、必修5科目5単位を修得する。 ③専門基礎科目は、必修24科目38単位を修得する。 ④専門科目は、必修29科目44単位に加え、「臨地実習Ⅳ(臨床栄養)」または「臨地実習Ⅴ(公衆衛生学)」の内いずれかを選択必修とし、合計45単位を修得する。 ⑤家庭科専門科目は、必修1科目2単位を修得する。 ⑥卒業要件単位数は合計124単位以上を修得する。  (履修科目の登録の上限：48単位(年間))											

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任				
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手					
教養・基礎科目	人間と文化の探求	生命倫理学 心理学 平和と友愛論 美術の世界 国際文化人間論	3前 1前 1前 1前 1前	2 2 1 1 1			1 1 1					1 1 1			
	現代社会の探求	社会学 日本国憲法 社会福祉論 社会とメディア 経営学基礎 マーケティング論 ヒューマンコミュニケーション	1前 1前 1後 1後 1後 2前 1後	2 2 2 2 2 2 2								1 1 1 1 1 1 1			
	自然科学の探求	基礎化学 有機化学 生物学概論 物理学概論 数学概論 統計学	1前 1前 1前 1前 1前 1後	2 2 2 2 2 2			1 1					1 1 1 1 1 1			
	地域と環境の探求	健康科学 生活と環境 災害と生活 土佐の歴史 土佐の食文化	1前 1前 1後 1前 1前	1 2 2 1 1								1 1 1 1 1			
	日本語科目	日本語文章表現 日本語口頭表現 日本語読解	1前 1前 2前	1 1 1									1 1 1		
	外国語科目	英語文章表現 英語読解 日常英会話 英語プレゼンテーション 中国語の基礎 中国語会話	1前 1後 1後 2後 1後 2前	1 1 1 1 1 1		1 1 1							1 1 1 1 1		
	情報科目	情報機器の活用と発信 情報機器とプレゼンテーション 情報倫理	1前 2前 2後	1 1 1									1 1 1		
	キャリア科目	キャリアデザインⅠ（基礎） キャリアデザインⅡ（応用）	1前 2後	1 1									1 1		
	健康スポーツ科目	運動と健康 生涯スポーツ実技	1前 1前	1 1									1 1		
		小計（39科目）	-	17	39	0	3	1	0	0	0	0	25		
	専門導入科目	管理栄養士導入教育論 健康栄養学 チーム医療概論 地域医療概論 救急救命法 医療リスクマネジメント 医学英語演習 医学英語特論	1後 1後 1後 4前 1後 2前 3前 4前	1 1 1 1 1 1 1 1			2 1 2 3 1	1		1				10 10 2 3 1 1	
		小計（8科目）	-	5	3	0	3	2	1	0	0	0	21		
		専門基礎科目	社会・環境と健康 公衆衛生学Ⅰ（総論） 公衆衛生学Ⅱ（各論） 公衆衛生学実習 地域包括ケアシステム論 小計（4科目）	2前 2後 3前 3前	2 2 1 2									1 1 1 1 2	
			専門基礎科目	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち 生化学Ⅰ（機能） 生化学Ⅱ（代謝） 生化学実験 人体の構造学 人体の機能学 人体の構造学実習 人体の機能学実習 疾病論Ⅰ（総論） 疾病論Ⅱ（各論） 運動生理学 運動生理学実習 小計（11科目）	1後 1後 2前 1後 2前 2前 2後 2前 2後 3前 3後	2 2 1 2 2 2 1 1 2 2 2 1			1 1 1 1 1 1 1	1 1					1 1 1 1 1 1 1 2

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目	食品学Ⅰ（総論）	1前	2			1						
	食品学Ⅱ（各論）	1後	2			1						
	食品学実験	1後	1			1						
	食品衛生学	1後	2				1					
	食品衛生学実験	2前	1				1					
	食品加工学実習	3後	1									1
	調理科学	1前	2									1
	調理学実習Ⅰ（基礎）	1前	1									1
	調理学実習Ⅱ（応用）	1後	1									1
	小計（9科目）	—	13	0	0	1	1	0	0	0	0	3
専門科目	基礎栄養学	1後	2			1						
	基礎栄養学実験	2前	1			1						
	小計（2科目）	—	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	応用栄養学	2前	2				1					
	応用栄養学Ⅱ（母性・成長期）	2後	2				1					
	応用栄養学Ⅲ（成人・高齢期）	3前	2				1					
	応用栄養学実習	2後	1				1					
	小計（4科目）	—	7	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	栄養教育論	2後	2				1					
	栄養教育論Ⅱ（応用）	3前	2				1					
	栄養教育論Ⅲ（実践）	4前	2				1					
	栄養教育論実習	3前	1				1					
	小計（4科目）	—	7	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	臨床栄養学	臨床栄養学Ⅰ（総論）	2前	2								1
	臨床栄養学Ⅱ（管理・評価）	2後	2									1
	臨床栄養学Ⅲ（栄養食事療法）	3前	2			1						
	臨床栄養学実習Ⅰ（基礎）	3前	1			1						
	臨床栄養学実習Ⅱ（応用）	3後	1			1						
	病棟栄養管理学	3後	2									1
	口腔ケアと栄養管理	3後	1			1						1
	がん栄養療法	3後	1			1						1
	小計（8科目）	—	12	0	0	1	0	0	0	0	0	4
	公衆栄養学	公衆栄養学Ⅰ（総論）	2後	2			1					
公衆栄養学Ⅱ（各論）	3前	2			1							
地域公衆栄養学実習	3後	1			1							
小計（3科目）	—	5	0	0	1	0	0	0	0	0	0	
給食経営管理論	給食経営管理論Ⅰ（総論）	2前	2				1					
給食経営管理論Ⅱ（各論）	2後	2				1						
給食経営管理実習Ⅰ（基礎）	3前	1				1						
給食経営管理実習Ⅱ（応用）	3前	1				1						
小計（4科目）	—	6	0	0	0	0	1	0	0	0	0	
総合演習	臨地実習事前・事後指導	3通	1			2	1					
管理栄養士総合演習	4後	2			6	3	1				3	
小計（2科目）	—	1	2	0	6	3	1	0	0	0	3	
臨地実習	臨地実習Ⅰ（給食の運営）	3前	1				1					
臨地実習Ⅱ（給食経営管理論）	3後	1				1						
臨地実習Ⅲ（臨床栄養学）	3後	1			1							
臨地実習Ⅳ（臨床栄養学）	3後	1	1		1							
臨地実習Ⅴ（公衆栄養学）	3後	1	1		1							
小計（5科目）	—	3	2	0	2	0	1	0	0	0	0	
科発展	卒業研究	4通	4			6	3	1				
小計（1科目）	—	0	4	0	6	3	1	0	0	0	0	
家庭科専門科目	家庭経営学（家庭経済学を含む）	1後	2									1
	家族関係学	2前	2									1
	被服学	1後	2			1						
	被服製作実習	2前	1			1						
	住居学（製図を含む）	2前	2									1
	保育学	2前	2									1
	家庭看護学	1後	2									1
	家庭電気・家庭機械	2後	2									1
	家庭情報処理	2後	1									1
	家庭科教育法Ⅰ	1前	4			1						
家庭科教育法Ⅱ	2通	4			1							
小計（11科目）	—	2	22	0	1	0	0	0	0	0	7	
栄養教育論専門科目	学校栄養教育論Ⅰ	1後	2									1
	学校栄養教育論Ⅱ	2前	2									1
	小計（2科目）	—	0	4	0	0	1	0	0	0	0	1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教職専門科目	教育原理	1前		2								1
	教職及び教育の制度・経営論	1前		2								1
	教育心理学	2後		2		1						
	発達心理学	2後		2		1						
	特別支援教育入門	3後		1								3
	教育課程総論	1後		2		1						2
	道徳教育の指導法	2前		2		1						
	総合的な学習の時間の指導法	2後										1
	特別活動の指導法	2後		1								1
	教育の方法及び技術	2前		1								3
	生徒指導の理論と方法	1後		2		1						
	教育相談	2後		2								1
	進路指導及びキャリア教育の理論と方法	2後		2								2
	教育実習Ⅰ	3前		2				1				
	教育実習Ⅱ	4前		2				1				
	教育実習事前事後指導	3前		1				1				
	教職実践演習(中・高家庭科)	4後		2				1				
	栄養教育実習	3前		1		1						1
	栄養教育実習事前事後指導	3前		1		1						1
	教職実践演習(栄養教諭)	4後		2								2
小計(20科目)		-	0	33		2	0	1	0	0		15
合計(137科目)		-	106	109	0	11	4	2	0	0		71

卒業要件及び履修方法

卒業要件単位 124単位  
 ①教養・基礎科目は、13科目17単位が必修、選択科目より17単位以上、合計34単位以上を修得する。  
 ②専門導入科目は、必修5科目5単位を修得する。  
 ③専門基礎科目は、必修24科目38単位を修得する。  
 ④専門科目は、必修29科目44単位に加え、「臨地実習Ⅳ(臨床栄養)」または「臨地実習Ⅴ(公衆衛生学)」のいずれかを選択必修とし、合計45単位を修得する。  
 ⑤家庭科専門科目は、必修1科目2単位を修得する。  
 ⑥卒業要件単位数は合計124単位以上を修得する。  
 (履修科目の登録の上限: 48単位(年間))

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。  
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
  - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務実習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
  - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。

(1) ①-②授業科目表に関する変更内容

**【令和2年度】**

管理栄養士養成校審査の結果、応用栄養学Ⅱ(母性・成長期)を2年前期から2年後期に変更。  
 管理栄養士養成校審査の結果、応用栄養学Ⅲ(成人・高齢期)を2年後期から3年前期に変更。  
 管理栄養士養成校審査の結果、臨床栄養学Ⅰ(総論)を2年後期から2年前期に変更。  
 管理栄養士養成校審査の結果、臨床栄養学Ⅱ(管理・評価)を3年前期から2年後期に変更。  
 教職課程審査の結果、「教育課程総論」の専任教員等の配置を「兼任1」から「兼任2」に変更。  
 教育課程審査の結果、「総合的な学習の時間の指導法」の専任教員等の配置を「兼任2」から「兼任1」に変更。  
 教育課程審査の結果、「教育の方法及び技術」の専任教員等の配置を「兼任1」から「兼任3」に変更。  
 教育課程審査の結果、「進路指導及びキャリア教育の理論と方法」の専任教員等の配置を「兼任1」から「兼任2」に変更。

**【令和3年度】**

兼任講師が都合により辞退したため、「医療リスクマネジメント」の兼任教員の配置を「兼任3」から「兼任5」に変更。

#### 【令和4年度】

教育職員免許法施行規則等の一部を改正する省令の施行に伴い、教職専門科目に「ICT活用教育の理論と実践」を新たに加えた。

#### 【令和5年度】

兼任講師が都合により辞退したため、「生命倫理学」の兼任教員の配置を「兼任1」から「兼任6」に変更。  
兼任講師の都合により、「マーケティング論」の兼任教員の配置を「兼任1」から「兼任2」に変更。  
「管理栄養士導入教育論」は、教授2・准教授1の配置を教授1・准教授1・講師1に変更（R5.2-AC教員審査）。  
「健康栄養学」は、教授1を講師1に変更（R5.2-AC教員審査）。  
「地域医療概論」は、講師1から講師2に変更（R5.2-AC教員審査）。  
「基礎栄養学」「基礎栄養学実験」は、教授2・准教授1の配置を教授1・准教授1・講師1に変更（R5.2-AC教員審査）。  
「管理栄養士総合演習」は、教授6・准教授3・講師1の配置を教授6・准教授3・講師2に変更（R5.2-AC教員審査）。  
「卒業研究」は、教授6・准教授3・講師1の配置を教授6・准教授3・講師2に変更（R5.2-AC教員審査）。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。
  - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
72 科目	65 科目	0 科目	137 科目	72 科目 [ 0 ]	66 科目 [ 1 ]	0 科目 [ 0 ]	138 科目 [ 1 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

### (3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
  - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

### (4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
  - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

### (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{137} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考	
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	校舎敷地・その他：高知学園短期大学（必要面積4,600㎡）と共有運動場用地：高知リハビリテーション専門職大学及び高知学園短期大学と共用	
	校舎敷地	0 ㎡	17,841.48 ㎡	0 ㎡	17,841.48 ㎡		
	運動場用地	0 ㎡	25,297.30 ㎡	0 ㎡	25,297.30 ㎡		
	小 計	0 ㎡	43,138.78 ㎡	0 ㎡	43,138.78 ㎡		
	そ の 他	0 ㎡	6,169.97 ㎡	0 ㎡	6,169.97 ㎡		
	合 計	0 ㎡	49,308.75 ㎡	0 ㎡	49,308.75 ㎡		
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	高知学園短期大学（必要面積5,500㎡）と共用		
	4,406.42 ㎡ ( 4,406.42 ㎡)	8,734.09 ㎡ ( 8,734.09 ㎡)	4,207.75 ㎡ ( 4,207.75 ㎡)	17,348.26 ㎡ ( 17,348.26 ㎡)			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	(講義室、情報処理学習施設は高知学園短期大学と共用)	
	28 室	13 室	21 室	2 室 (補助職員 0 人)	0 室 (補助職員 0 人)		
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			教員増に伴い、研究室を増(5)	
	健康科学部 管理栄養学科		20 18 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌	電子ジャーナル	視聴覚資料	機械・器具	標 本
		[うち外国書]	[うち外国書]				
	健康科学部 管理栄養学科	冊	種	点	点	点	点
	計	冊	種	点	点	点	点
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		
	974.00 ㎡		134		117,630 冊		
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				
	3,543.00 ㎡		テニスコート(3面)		1,815.00 ㎡		
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	252千円	252千円	図書購入費	4,500千円	1,150千円
	共 同 研 究 費 等	80千円	80千円	設備購入費	52,000千円	30,000千円	0千円
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次
		1,220千円	1,000千円	1,000千円	1,000千円	-千円	-千円
学生納付金以外の維持方法の概要		補助金収入、資産運用収入、手数料収入、雑収入 等					

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に赤字で記入してください。  
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	高知学園大学										平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	2	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	0	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	2	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考					
	年	人	年次人	人		倍	倍	倍	倍	年度	年度							
健康科学部	4	130	-	520	-	0.78	-	0.72	-	-	令和2	高知県高知市旭天神町292-26						
管理栄養学科	4	70	-	280	学士(栄養学)	0.77	-	0.68	-	-	令和2	同上						
臨床検査学科	4	60	-	240	学士(臨床検査学)	0.78	-	0.75	-	-	令和2	同上						
大学全体	-	130	-	520	-	0.78	-	0.72	-	-	令和2	同上						

大学の名称	高知リハビリテーション専門職大学										平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	1	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	0	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考					
	年	人	年次人	人		倍	倍	倍	倍	年度	年度							
リハビリテーション学部	4	150	-	600	-	0.74	-	0.75	-	-	平成31	高知県土佐市高岡町乙1139-3						
リハビリテーション学科	4	150	-	600	-	0.74	-	0.75	-	-	平成31	同上						
理学療法学専攻	4	70	-	280	理学療法学士(専門職)	0.94	-	0.97	-	-	平成31	同上						
作業療法学専攻	4	40	-	160	作業療法学士(専門職)	0.57	-	0.58	-	-	平成31	同上						
言語聴覚学専攻	4	40	-	160	言語聴覚学士(専門職)	0.59	-	0.51	-	-	平成31	同上						
大学全体	4	150	-	600	-	0.74	-	0.75	-	-	-	-						

大学の名称	高知学園短期大学										平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	1	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	0	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	1	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考					
	年	人	年次人	人		倍	倍	倍	倍	年度	年度							
生活科学学科	2	-	-	-	短期大学士(生活科学)	-	-	-	-	-	平成17	令和2年4月募集停止						
幼児保育学科	2	80	-	160	短期大学士(幼児保育学)	0.86	-	0.86	-	-	平成17							
医療衛生学科																		
医療検査専攻	3	-	-	-	短期大学士(医療検査学)	-	-	-	-	-	平成18	令和2年4月募集停止						
歯科衛生専攻	3	-	-	-	短期大学士(歯科衛生学)	-	-	-	-	-	平成18	令和2年4月募集停止						
歯科衛生学科	3	40	-	120	短期大学士(歯科衛生学)	0.68	-	0.69	-	-	令和2	令和2年4月 学科名称変更						
看護学科	3	60	-	180	短期大学士(看護学)	1.03	-	1.10	-	-	平成20							
大学全体	-	180	-	460	-	0.95	-	0.91	-	-	-	-						

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。
- なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。  
(様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください。)
- ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
    - ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。  
履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
  - ・「平均入学定員超過率（控除後）」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。  
なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
  - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。  
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和6年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
  - ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。  
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
  - ・「平均入学定員超過率（控除後含む）」及び「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。  
また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	松浦 喜美夫 (71) <令和2年4月> 医学博士	チーム医療概論※ 地域医療概論※ 疾病論Ⅰ(総論) 疾病論Ⅱ(各論) 管理栄養士総合演習※ 卒業研究	専	教授	松浦 喜美夫 (72) <令和2年4月> 医学博士	チーム医療概論※ 地域医療概論※ 疾病論Ⅰ(総論) 疾病論Ⅱ(各論) 管理栄養士総合演習※ 卒業研究	専	教授	松浦 喜美夫 (73) <令和2年4月> 医学博士	チーム医療概論※ 地域医療概論※ 疾病論Ⅰ(総論) 疾病論Ⅱ(各論) 管理栄養士総合演習※ 卒業研究
専	准教授	荒木 裕子 (52) <令和3年4月> 博士(健康科学)	栄養教育論Ⅰ(基礎) 栄養教育論Ⅱ(応用) 栄養教育論Ⅲ(実践) 栄養教育論実習 管理栄養士総合演習※ 卒業研究	専	准教授	荒木 裕子 (51) <令和2年4月> 博士(健康科学)	栄養教育論Ⅰ(基礎) 栄養教育論Ⅱ(応用) 栄養教育論Ⅲ(実践) 栄養教育論実習 管理栄養士総合演習※ 卒業研究	専	准教授	荒木 裕子 (53) <令和2年4月> 博士(健康科学)	栄養教育論Ⅰ(基礎) 栄養教育論Ⅱ(応用) 栄養教育論Ⅲ(実践) 栄養教育論実習 管理栄養士総合演習※ 卒業研究
専	准教授	古屋 美知 (49) <令和2年4月> 修士(生活科学)	管理栄養士導入教育論※ 地域医療概論※ 応用栄養学Ⅰ(栄養管理) 応用栄養学Ⅱ(母性・成長期) 応用栄養学Ⅲ(成人・高齢期) 応用栄養学実習 管理栄養士総合演習※ 卒業研究	専	准教授	古屋 美知 (50) <令和2年4月> 修士(生活科学)	管理栄養士導入教育論※ 地域医療概論※ 応用栄養学Ⅰ(栄養管理) 応用栄養学Ⅱ(母性・成長期) 応用栄養学Ⅲ(成人・高齢期) 応用栄養学実習 管理栄養士総合演習※ 卒業研究	専	准教授	古屋 美知 (52) <令和2年4月> 修士(生活科学)	管理栄養士導入教育論※ 地域医療概論※ 応用栄養学Ⅰ(栄養管理) 応用栄養学Ⅱ(母性・成長期) 応用栄養学Ⅲ(成人・高齢期) 応用栄養学実習 管理栄養士総合演習※ 卒業研究
専	准教授	鈴木 寛之 (49) <令和2年4月> 博士(理学)	基礎化学 有機化学 地域医療概論※ 生化学Ⅰ(機能) 生化学Ⅱ(代謝) 生化学実験 管理栄養士総合演習※ 卒業研究	専	准教授	鈴木 寛之 (50) <令和2年4月> 博士(理学)	基礎化学 有機化学 地域医療概論※ 生化学Ⅰ(機能) 生化学Ⅱ(代謝) 生化学実験 管理栄養士総合演習※ 卒業研究	専	准教授	鈴木 寛之 (51) <令和2年4月> 博士(理学)	基礎化学 有機化学 地域医療概論※ 生化学Ⅰ(機能) 生化学Ⅱ(代謝) 生化学実験 管理栄養士総合演習※ 卒業研究
専	准教授	中野 政之 (45) <令和2年4月> 博士(医学)	食品衛生学 食品衛生学実験	専	准教授	中野 政之 (47) <令和2年4月> 博士(医学)	食品衛生学 食品衛生学実験	専	准教授	中野 政之 (48) <令和2年4月> 博士(医学)	食品衛生学 食品衛生学実験
専	講師	日比野 りり子 (64) <令和4年4月> 家政学士	教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教育実習事前事後指導 教職実践演習(中・高家庭科)	専	講師	日比野 りり子 (64) <令和4年4月> 家政学士	教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教育実習事前事後指導 教職実践演習(中・高家庭科)	専	講師	日比野 りり子 (65) <令和3年4月> 家政学士	教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教育実習事前事後指導 教職実践演習(中・高家庭科)
専	講師	沼田 聡 (36) <令和3年4月> 博士(学術)	地域医療概論※ 給食経営管理論Ⅰ(総論) 給食経営管理論Ⅱ(各論) 給食経営管理実習Ⅰ(基礎) 給食経営管理実習Ⅱ(応用) 臨地実習事前・事後指導※ 管理栄養士総合演習※ 臨地実習Ⅰ(給食の運営) 臨地実習Ⅱ(給食経営管理論) 卒業研究	専	講師	沼田 聡 (36) <令和3年4月> 博士(学術)	地域医療概論※ 給食経営管理論Ⅰ(総論) 給食経営管理論Ⅱ(各論) 給食経営管理実習Ⅰ(基礎) 給食経営管理実習Ⅱ(応用) 臨地実習事前・事後指導※ 管理栄養士総合演習※ 臨地実習Ⅰ(給食の運営) 臨地実習Ⅱ(給食経営管理論) 卒業研究	専	講師	沼田 聡 (37) <令和3年4月> 博士(学術)	地域医療概論※ 給食経営管理論Ⅰ(総論) 給食経営管理論Ⅱ(各論) 給食経営管理実習Ⅰ(基礎) 給食経営管理実習Ⅱ(応用) 臨地実習事前・事後指導※ 管理栄養士総合演習※ 臨地実習Ⅰ(給食の運営) 臨地実習Ⅱ(給食経営管理論) 卒業研究
兼任	講師	村上 雅尚 (47) <令和2年4月> 博士(生命科学)	生物学概論	兼任	講師	村上 雅尚 (48) <令和2年4月> 博士(生命科学)	生物学概論	兼任	講師	村上 雅尚 (50) <令和2年4月> 博士(生命科学)	生物学概論
兼任	講師	小野川 雅英 (50) <令和2年10月> 博士(医学)	チーム医療概論※ 地域医療概論※ 救急救命法	兼任	講師	小野川 雅英 (51) <令和2年10月> 博士(医学)	チーム医療概論※ 地域医療概論※ 救急救命法	兼任	講師	小野川 雅英 (52) <令和2年10月> 博士(医学)	チーム医療概論※ 地域医療概論※ 救急救命法
兼任	講師	森田 尚亨 (63) <令和2年10月> 修士(理学)	チーム医療概論※ 地域医療概論※	兼任	講師	森田 尚亨 (64) <令和2年10月> 修士(理学)	チーム医療概論※ 地域医療概論※	兼任	講師	森田 尚亨 (65) <令和2年10月> 修士(理学)	チーム医療概論※ 地域医療概論※
兼任	講師	松崎 茂展 (66) <令和2年10月> 修士(理学)	チーム医療概論※	兼任	講師	松崎 茂展 (67) <令和2年10月> 修士(理学)	チーム医療概論※	兼任	講師	松崎 茂展 (68) <令和2年10月> 修士(理学)	チーム医療概論※
兼任	講師	山中 茂雄 (60) <令和2年10月> 博士(医学)	チーム医療概論※	兼任	講師	山中 茂雄 (61) <令和2年10月> 博士(医学)	チーム医療概論※	兼任	講師	山中 茂雄 (62) <令和2年10月> 博士(医学)	チーム医療概論※
専	准教授	坪内 美穂子 (67) <令和6年4月> 修士(保健学)	栄養教育論Ⅰ(基礎) 栄養教育論Ⅱ(応用) 栄養教育論Ⅲ(実践) 栄養教育論実習 管理栄養士総合演習※ 卒業研究	専	准教授	坪内 美穂子 (67) <令和6年4月> 修士(保健学)	栄養教育論Ⅰ(基礎) 栄養教育論Ⅱ(応用) 栄養教育論Ⅲ(実践) 栄養教育論実習 管理栄養士総合演習※ 卒業研究	専	准教授	坪内 美穂子 (67) <令和6年4月> 修士(保健学)	栄養教育論Ⅰ(基礎) 栄養教育論Ⅱ(応用) 栄養教育論Ⅲ(実践) 栄養教育論実習 管理栄養士総合演習※ 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名
	担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名	
兼任	富永 麻理 (63) <令和5年4月> 医学博士	講師	兼任	富永 麻理 (63) <令和5年4月> 医学博士	講師	兼任	富永 麻理 (65) <令和5年4月> 医学博士	講師	兼任	富永 麻理 (68) <令和5年4月> 医学博士	講師
	地域医療概論※			地域医療概論※			地域医療概論※			地域医療概論※	
兼任	中村 泰子 (51) <令和2年4月> 修士(医科学)	講師	兼任	中村 泰子 (52) <令和2年4月> 修士(医科学)	講師	兼任	中村 泰子 (53) <令和2年4月> 修士(医科学)	講師	兼任	中村 泰子 (54) <令和2年4月> 修士(医科学)	講師
	地域医療概論※ 救急救命法			地域医療概論※ 救急救命法			地域医療概論※ 救急救命法			地域医療概論※ 救急救命法	
兼任	是永 正敬 (66) <令和3年4月> 医学博士	講師	兼任	是永 正敬 (67) <令和3年4月> 医学博士	講師	兼任	是永 正敬 (68) <令和3年4月> 医学博士	講師	兼任	是永 正敬 (69) <令和3年4月> 医学博士	講師
	地域医療概論※ 公衆衛生学Ⅰ(総論) 公衆衛生学Ⅱ(各論) 公衆衛生学実習 管理栄養士総合演習※			地域医療概論※ 公衆衛生学Ⅰ(総論) 公衆衛生学Ⅱ(各論) 公衆衛生学実習 管理栄養士総合演習※			地域医療概論※ 公衆衛生学Ⅰ(総論) 公衆衛生学Ⅱ(各論) 公衆衛生学実習 管理栄養士総合演習※			地域医療概論※ 公衆衛生学Ⅰ(総論) 公衆衛生学Ⅱ(各論) 公衆衛生学実習 管理栄養士総合演習※	
兼任	高岡 榮二 (66) <令和5年4月> 修士(理学)	講師	兼任	高岡 榮二 (67) <令和5年4月> 修士(理学)	講師	兼任	高岡 榮二 (68) <令和5年4月> 修士(理学)	講師	兼任	高岡 榮二 (69) <令和5年4月> 修士(理学)	講師
	地域医療概論※			地域医療概論※			地域医療概論※			地域医療概論※	
兼任	武市 和彦 (59) <令和5年4月> 農学士	講師	兼任	武市 和彦 (60) <令和5年4月> 農学士	講師	兼任	武市 和彦 (61) <令和5年4月> 農学士	講師	兼任	武市 和彦 (62) <令和5年4月> 農学士	講師
	地域医療概論※			地域医療概論※			地域医療概論※			地域医療概論※	
兼任	高橋 功 (78) <令和4年4月> 医学博士	講師	兼任	高橋 功 (77) <令和4年4月> 医学博士	講師	兼任	高橋 功 (78) <令和4年4月> 医学博士	講師			
	生命倫理学			生命倫理学			生命倫理学				
兼任	浜田 幸作 (71) <令和2年4月> 修士(教育学)	講師	兼任	浜田 幸作 (71) <令和2年4月> 修士(教育学)	講師						
	平和と友愛論			平和と友愛論							
兼任	都築 房子 (71) <令和2年4月> 教育学士	講師	兼任	都築 房子 (71) <令和2年4月> 教育学士	講師	兼任	都築 房子 (72) <令和2年4月> 教育学士	講師	兼任	都築 房子 (73) <令和2年4月> 教育学士	講師
	美術の世界			美術の世界			美術の世界			美術の世界	
兼任	遠山 茂樹 (51) <令和2年4月> 修士(社会学)	講師	兼任	遠山 茂樹 (51) <令和2年4月> 修士(社会学)	講師	兼任	遠山 茂樹 (52) <令和2年4月> 修士(社会学)	講師	兼任	遠山 茂樹 (53) <令和2年4月> 修士(社会学)	講師
	社会学			社会学			社会学			社会学	
兼任	渡邊 富一 (64) <令和2年4月> 法学修士	講師	兼任	渡邊 富一 (64) <令和2年4月> 法学修士	講師	兼任	渡邊 富一 (65) <令和2年4月> 法学修士	講師	兼任	渡邊 富一 (67) <令和2年4月> 法学修士	講師
	日本国憲法			日本国憲法			日本国憲法			日本国憲法	
兼任	岡村 奈緒美 (31) <令和2年10月> 修士(福祉社会学)	講師	兼任	岡村 奈緒美 (32) <令和2年10月> 修士(福祉社会学)	講師	兼任	岡村 奈緒美 (33) <令和2年10月> 修士(福祉社会学)	講師	兼任	岡村 奈緒美 (34) <令和2年10月> 修士(福祉社会学)	講師
	社会福祉論 特別支援教育入門※			社会福祉論 特別支援教育入門※			社会福祉論 特別支援教育入門※			社会福祉論 特別支援教育入門※	
兼任	隅田 和稔 (65) <令和2年10月> 博士(学術)	講師	兼任	隅田 和稔 (65) <令和2年10月> 博士(学術)	講師	兼任	隅田 和稔 (66) <令和2年10月> 博士(学術)	講師	兼任	隅田 和稔 (67) <令和2年10月> 博士(学術)	講師
	社会とメディア			社会とメディア			社会とメディア			社会とメディア	
兼任	生島 洋 (49) <令和2年10月> 修士(経営学)	講師	兼任	生島 洋 (50) <令和2年10月> 修士(経営学)	講師	兼任	生島 洋 (51) <令和2年10月> 修士(経営学)	講師	兼任	生島 洋 (52) <令和2年10月> 修士(経営学)	講師
	経営学基礎			経営学基礎			平和と友愛論 経営学基礎			平和と友愛論 経営学基礎 マーケティング論※	
兼任	二宮 久美 (64) <令和2年4月> 修士(学術)	講師	兼任	二宮 久美 (64) <令和2年4月> 修士(学術)	講師	兼任	二宮 久美 (65) <令和2年4月> 修士(学術)	講師	兼任	二宮 久美 (67) <令和2年4月> 修士(学術)	講師
	ヒューマンコミュニケーション キャリアデザインⅠ(基礎)			ヒューマンコミュニケーション キャリアデザインⅠ(基礎) 進路指導及びキャリア教育の理 論と方法※			ヒューマンコミュニケーション キャリアデザインⅠ(基礎) 進路指導及びキャリア教育の理 論と方法※			ヒューマンコミュニケーション キャリアデザインⅠ(基礎) 進路指導及びキャリア教育の理 論と方法※	
兼任	岩崎 正春 (73) <令和2年4月> 理学博士	講師	兼任	岩崎 正春 (73) <令和2年4月> 理学博士	講師	兼任	岩崎 正春 (74) <令和2年4月> 理学博士	講師	兼任	岩崎 正春 (75) <令和2年4月> 理学博士	講師
	物理学概論			物理学概論			物理学概論			物理学概論	
兼任	池 康晴 (63) <令和2年4月> 理学士	講師									
	数学概論										
兼任	島田 郁子 (55) <令和2年10月> 博士(生活科学)	講師	兼任	島田 郁子 (55) <令和2年10月> 博士(生活科学)	講師	兼任	島田 郁子 (56) <令和2年10月> 博士(生活科学)	講師	兼任	島田 郁子 (57) <令和2年10月> 博士(生活科学)	講師
	災害と生活			災害と生活			災害と生活			災害と生活	
兼任	三谷 英子 (72) <令和2年4月> 専門学校	講師	兼任	三谷 英子 (72) <令和2年4月> 専門学校	講師	兼任	三谷 英子 (73) <令和2年4月> 専門学校	講師	兼任	三谷 英子 (75) <令和2年4月> 専門学校	講師
	土佐の食文化			土佐の食文化			土佐の食文化			土佐の食文化	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任 講師		戸田 浩 (63) <令和2年4月> 文学士	日本語文章表現 日本語読解 栄養教育実習 栄養教育実習事前事後指導	兼任 講師		戸田 浩 (63) <令和2年4月> 文学士	日本語文章表現 <b>日本語口頭表現</b> 日本語読解 栄養教育実習 栄養教育実習事前事後指導	兼任 講師		戸田 浩 (65) <令和2年4月> 文学士	日本語文章表現 <b>日本語口頭表現</b> 日本語読解 栄養教育実習 栄養教育実習事前事後指導
兼任 講師		松本 俊典 (63) <令和2年4月> 教育心理学士	日本語口頭表現								
兼任 講師		PAULA DIAN FABIAN (62) <令和2年10月> B.L.A(英国)	日常英会話 医学英語演習	兼任 講師		PAULA DIAN FABIAN (62) <令和2年10月> B.L.A(英国)	日常英会話 医学英語演習	兼任 講師		PAULA DIAN FABIAN (64) <令和2年10月> B.L.A(英国)	日常英会話 医学英語演習
兼任 講師		前田 正也 (62) <令和2年10月> 法学士	中国語の基礎 中国語会話	兼任 講師		前田 正也 (62) <令和2年10月> 法学士	中国語の基礎 中国語会話	兼任 講師		前田 正也 (64) <令和2年10月> 法学士	中国語の基礎 中国語会話
兼任 講師		小島 貴子 (62) <令和3年10月> 修士(国際7ドミナレーション)	キャリアデザインⅡ(応用) 進路指導及びキャリア教育の理論と方法	兼任 講師		小島 貴子 (62) <令和3年10月> 修士(国際7ドミナレーション)	キャリアデザインⅡ(応用) 進路指導及びキャリア教育の理論と方法	兼任 講師		小島 貴子 (64) <令和3年10月> 修士(国際7ドミナレーション)	キャリアデザインⅡ(応用) 進路指導及びキャリア教育の理論と方法
兼任 講師		山本 英作 (53) <令和2年4月> 修士(地域研究)	運動と健康 生涯スポーツ実技	兼任 講師		山本 英作 (53) <令和2年4月> 修士(地域研究)	運動と健康 生涯スポーツ実技	兼任 講師		山本 英作 (55) <令和2年4月> 修士(地域研究)	運動と健康 生涯スポーツ実技
兼任 講師		矢野 智恵 (50) <令和2年10月> 修士(看護学)	チーム医療概論※	兼任 講師		矢野 智恵 (50) <令和2年10月> 修士(看護学)	チーム医療概論※	兼任 講師		矢野 智恵 (52) <令和2年10月> 修士(看護学)	チーム医療概論※
兼任 講師		坂本 まゆみ (53) <令和2年10月> 博士(口腔保健福祉学)	チーム医療概論※ 口腔ケアと栄養管理※	兼任 講師		坂本 まゆみ (53) <令和2年10月> 博士(口腔保健福祉学)	チーム医療概論※ 口腔ケアと栄養管理※	兼任 講師		坂本 まゆみ (55) <令和2年10月> 博士(口腔保健福祉学)	チーム医療概論※ 口腔ケアと栄養管理※
兼任 講師		宮崎 登美子 (47) <令和2年10月> 学士(社会学)	チーム医療概論	兼任 講師		宮崎 登美子 (47) <令和2年10月> 学士(社会学)	チーム医療概論	兼任 講師		宮崎 登美子 (49) <令和2年10月> 学士(社会学)	チーム医療概論
兼任 講師		福井 康雄 (60) <令和2年10月> 医学博士	チーム医療概論※ 医療リスクマネジメント	兼任 講師		福井 康雄 (60) <令和2年10月> 医学博士	チーム医療概論※ 医療リスクマネジメント	兼任 講師		福井 康雄 (62) <令和2年10月> 医学博士	医療リスクマネジメント
兼任 講師		竹崎 陽子 (40) <令和2年10月> 専門学校	チーム医療概論※	兼任 講師		竹崎 陽子 (40) <令和2年10月> 専門学校	チーム医療概論※	兼任 講師		竹崎 陽子 (42) <令和2年10月> 専門学校	チーム医療概論※
兼任 講師		光岡 妙子 (49) <令和2年10月> 医学士	チーム医療概論※	兼任 講師		光岡 妙子 (49) <令和2年10月> 医学士	チーム医療概論※	兼任 講師		光岡 妙子 (51) <令和2年10月> 医学士	チーム医療概論※
兼任 講師		森下 安子 (62) <令和4年4月> 看護学博士	地域医療概論※ 地域包括ケアシステム論	兼任 講師		森下 安子 (62) <令和4年4月> 看護学博士	地域医療概論※ 地域包括ケアシステム論	兼任 講師		森下 安子 (63) <令和4年4月> 看護学博士	地域医療概論※ 地域包括ケアシステム論
兼任 講師		浅羽 宏一 (54) <令和5年4月> 博士(医学)	地域医療概論※	兼任 講師		浅羽 宏一 (51) <令和5年4月> 博士(医学)	地域医療概論※	兼任 講師		浅羽 宏一 (53) <令和5年4月> 博士(医学)	地域医療概論※
兼任 講師		林 和俊 (56) <令和3年4月> 医学博士	医療リスクマネジメント※	兼任 講師		林 和俊 (56) <令和3年4月> 医学博士	医療リスクマネジメント※	兼任 講師		林 和俊 (57) <令和3年4月> 医学博士	医療リスクマネジメント※
兼任 講師		小野 憲昭 (59) <令和3年4月> 医学博士	医療リスクマネジメント※	兼任 講師		小野 憲昭 (59) <令和3年4月> 医学博士	医療リスクマネジメント※	兼任 講師		小野 憲昭 (61) <令和3年4月> 医学博士	医療リスクマネジメント※
兼任 講師		市川 厚 (46) <令和3年10月> 博士(医学)	人体の機能学実習	兼任 講師		市川 厚 (46) <令和3年10月> 博士(医学)	人体の機能学実習	兼任 講師		市川 厚 (48) <令和3年10月> 博士(医学)	人体の機能学実習
兼任 講師		駒井 説夫 (66) <令和4年4月> 教育学修士	運動生理学 運動生理学実習 管理栄養士総合演習※	兼任 講師		駒井 説夫 (66) <令和4年4月> 教育学修士	運動生理学 運動生理学実習 管理栄養士総合演習※	兼任 講師		駒井 説夫 (67) <令和4年4月> 教育学修士	運動生理学 運動生理学実習 管理栄養士総合演習※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	松村 晃子 (62) <令和3年10月> 栄養学士	臨床栄養学Ⅰ(総論) 臨床栄養学Ⅱ(管理・評価)	兼任	講師	松村 晃子 (61) <令和3年10月> 栄養学士	臨床栄養学Ⅰ(総論) 臨床栄養学Ⅱ(管理・評価)	兼任	講師	松村 晃子 (63) <令和3年10月> 栄養学士	臨床栄養学Ⅰ(総論) 臨床栄養学Ⅱ(管理・評価)
兼任	講師	宮澤 靖 (56) <令和4年10月> 栄養学士	病棟栄養管理	兼任	講師	宮澤 靖 (54) <令和4年10月> 栄養学士	病棟栄養管理	兼任	講師	宮澤 靖 (58) <令和4年10月> 栄養学士	病棟栄養管理
兼任	講師	利光 久美子 (53) <令和4年10月> 学術博士	がんと栄養療法※	兼任	講師	利光 久美子 (51) <令和4年10月> 学術博士	がんと栄養療法※	兼任	講師	利光 久美子 (53) <令和4年10月> 学術博士	がんと栄養療法※
兼任	講師	井本 正人 (71) <令和2年10月> 経済学修士	家庭経営学(家庭経済学を含む)	兼任	講師	井本 正人 (71) <令和2年10月> 経済学修士	家庭経営学(家庭経済学を含む)	兼任	講師	井本 正人 (73) <令和2年10月> 経済学修士	家庭経営学(家庭経済学を含む)
兼任	講師	森田 美佐 (47) <令和3年4月> 博士(生活環境学)	家族関係学	兼任	講師	森田 美佐 (47) <令和3年4月> 博士(生活環境学)	家族関係学	兼任	講師	森田 美佐 (49) <令和3年4月> 博士(生活環境学)	家族関係学
兼任	講師	西島 芳子 (76) <令和3年4月> 博士(学術)	住居学(製園を含む)	兼任	講師	西島 芳子 (76) <令和3年4月> 博士(学術)	住居学(製園を含む)	兼任	講師	西島 芳子 (76) <令和3年4月> 博士(学術)	住居学(製園を含む)
兼任	講師	田村 由香 (60) <令和3年4月> 短期大学	保育学	兼任	講師	田村 由香 (60) <令和3年4月> 短期大学	保育学	兼任	講師	田村 由香 (61) <令和3年4月> 短期大学	保育学
兼任	講師	池添 志乃 (55) <令和2年10月> 博士(看護学)	家族看護学	兼任	講師	池添 志乃 (55) <令和2年10月> 博士(看護学)	家族看護学	兼任	講師	池添 志乃 (57) <令和2年10月> 博士(看護学)	家族看護学
兼任	講師	吉松 徹久 (67) <令和3年10月> 工学修士	家庭電気・家庭機械	兼任	講師	吉松 徹久 (67) <令和3年10月> 工学修士	家庭電気・家庭機械	兼任	講師	吉松 徹久 (67) <令和3年10月> 工学修士	家庭電気・家庭機械
兼任	講師	松本 秀彦 (52) <令和4年10月> 修士(教育学)	特別支援教育入門※	兼任	講師	松本 秀彦 (51) <令和4年10月> 修士(教育学)	特別支援教育入門※	兼任	講師	松本 秀彦 (53) <令和4年10月> 修士(教育学)	特別支援教育入門※
兼任	講師	宮崎 大樹 (42) <令和2年10月> 学士(学校教育)	教育課程総論※ 総合的な学習の時間の指導法※ 特別活動の指導法								
兼任	講師	濱田 美晴 (51) <令和3年10月> 修士(理学)	教育の方法及び技術								
兼任	講師	中野 靖子 (63) <令和3年10月> 短期大学	教育相談 教職実践演習(栄養教諭)※	兼任	講師	中野 靖子 (62) <令和3年10月> 短期大学	教育相談 教職実践演習(栄養教諭)※	兼任	講師	中野 靖子 (64) <令和3年10月> 短期大学	教育相談 教職実践演習(栄養教諭)※
兼任	講師	永島 正康 (60) <令和3年4月> Ph. D. in BusinessAdministration(仏国)	マーケティング論	兼任	講師	永島 正康 (59) <令和3年4月> Ph. D. in BusinessAdministration(仏国)	マーケティング論	兼任	講師	永島 正康 (61) <令和3年4月> Ph. D. in BusinessAdministration(仏国)	マーケティング論
兼任	講師	三船 恒裕 (38) <令和2年10月> 博士(文学)	統計学	兼任	講師	三船 恒裕 (38) <令和2年10月> 博士(文学)	統計学	兼任	講師	三船 恒裕 (40) <令和2年10月> 博士(文学)	統計学
兼任	講師	木下 泉 (63) <令和2年4月> 農学博士	生活と環境	兼任	講師	木下 泉 (64) <令和2年4月> 農学博士	生活と環境	兼任	講師	木下 泉 (68) <令和2年4月> 農学博士	生活と環境
兼任	講師	宅間 一之 (85) <令和2年4月> 教育学士	土佐の歴史	兼任	講師	宅間 一之 (85) <令和2年4月> 教育学士	土佐の歴史	兼任	講師	宅間 一之 (87) <令和2年4月> 教育学士	土佐の歴史
兼任	講師	来栖 正博 (34) <令和2年4月> 修士(理学)	情報機器の活用と発信 情報機器とプレゼンテーション 情報倫理 家庭情報処理	兼任	講師	来栖 正博 (34) <令和2年4月> 修士(理学)	情報機器の活用と発信 情報機器とプレゼンテーション 情報倫理 家庭情報処理	兼任	講師	来栖 正博 (36) <令和2年4月> 修士(理学)	情報機器の活用と発信 情報機器とプレゼンテーション 情報倫理 家庭情報処理

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	津野 美保 (68) <令和2年4月> 修士(学術)	兼任	講師	津野 美保 (68) <令和2年4月> 修士(学術)	兼任	講師	津野 美保 (70) <令和2年4月> 修士(学術)	兼任	講師	津野 美保 (71) <令和2年4月> 修士(学術)
		健康科学			健康科学			健康科学			健康科学
兼任	講師	安岡 しずか (49) <令和5年4月> 修士(看護学)	兼任	講師	安岡 しずか (46) <令和5年4月> 修士(看護学)	兼任	講師	安岡 しずか (46) <令和5年4月> 修士(看護学)	兼任	講師	安岡 しずか (46) <令和5年4月> 修士(看護学)
		地域医療概論※			地域医療概論※			地域医療概論※			地域医療概論※
兼任	講師	吉尾 信子 (68) <令和4年10月> 博士(学術)	兼任	講師	吉尾 信子 (67) <令和4年10月> 博士(学術)	兼任	講師	吉尾 信子 (69) <令和4年10月> 博士(学術)	兼任	講師	吉尾 信子 (69) <令和4年10月> 博士(学術)
		食品加工学実習			食品加工学実習			食品加工学実習			食品加工学実習
兼任	講師	次田 一代 (57) <令和2年4月> 家政学修士	兼任	講師	次田 一代 (57) <令和2年4月> 家政学修士	兼任	講師	次田 一代 (59) <令和2年4月> 家政学修士	兼任	講師	次田 一代 (60) <令和2年4月> 家政学修士
		調理科学 管理栄養士総合演習※			調理科学 管理栄養士総合演習※			調理科学 管理栄養士総合演習※			調理科学 管理栄養士総合演習※
兼任	講師	彼末 富貴 (59) <令和2年4月> 家政学修士	兼任	講師	彼末 富貴 (60) <令和2年4月> 家政学修士	兼任	講師	彼末 富貴 (61) <令和2年4月> 家政学修士	兼任	講師	彼末 富貴 (62) <令和2年4月> 家政学修士
		調理学実習Ⅰ(基礎) 調理学実習Ⅱ(応用)			調理学実習Ⅰ(基礎) 調理学実習Ⅱ(応用)			調理学実習Ⅰ(基礎) 調理学実習Ⅱ(応用)			調理学実習Ⅰ(基礎) 調理学実習Ⅱ(応用)
兼任	講師	下元 智世 (66) <令和2年10月> 修士(学術)	兼任	講師	下元 智世 (66) <令和2年10月> 修士(学術)	兼任	講師	下元 智世 (67) <令和2年10月> 修士(学術)	兼任	講師	下元 智世 (68) <令和2年10月> 修士(学術)
		学校栄養教育論Ⅰ 学校栄養教育論Ⅱ 教職実践演習(栄養教諭)※			学校栄養教育論Ⅰ 学校栄養教育論Ⅱ 教職実践演習(栄養教諭)※			学校栄養教育論Ⅰ 学校栄養教育論Ⅱ 教職実践演習(栄養教諭)※			学校栄養教育論Ⅰ 学校栄養教育論Ⅱ 教職実践演習(栄養教諭)※
兼任	講師	中村 直人 (61) <令和2年4月> 教育学修士	兼任	講師	中村 直人 (61) <令和2年4月> 教育学修士	兼任	講師	中村 直人 (62) <令和2年4月> 教育学修士	兼任	講師	中村 直人 (64) <令和2年4月> 教育学修士
		教育原理			教育原理			教育原理			教育原理
兼任	講師	山下 文一 (61) <令和3年10月> 修士(学術)									
		総合的な学習の時間の指導法※									
兼任	講師	永野 隆史 (65) <令和2年4月> 教育学修士	兼任	講師	永野 隆史 (65) <令和2年4月> 教育学修士	兼任	講師	永野 隆史 (66) <令和2年4月> 教育学修士			
		教職及び教育の制度・経営論			教職及び教育の制度・経営論			教職及び教育の制度・経営論			
兼任	講師	今井 多衣子 (66) <令和4年10月> 文学修士	兼任	講師	今井 多衣子 (66) <令和4年10月> 文学修士	兼任	講師	今井 多衣子 (67) <令和4年10月> 文学修士	兼任	講師	今井 多衣子 (68) <令和4年10月> 文学修士
		特別支援教育入門※			特別支援教育入門※			特別支援教育入門※			特別支援教育入門※
			兼任	講師	古市 直樹 (33) <令和2年10月> 修士(教育学)	兼任	講師	古市 直樹 (35) <令和2年10月> 修士(教育学)	兼任	講師	古市 直樹 (36) <令和2年10月> 修士(教育学)
					教育課程概論※ 教育の方法及び技術※			教育課程概論※ 教育の方法及び技術※			教育課程概論※ 教育の方法及び技術※
			兼任	講師	福石 賢一 (50) <令和2年10月> 修士(教育学)	兼任	講師	福石 賢一 (51) <令和2年10月> 修士(教育学)	兼任	講師	福石 賢一 (53) <令和2年10月> 修士(教育学)
					教育課程概論※			教育課程概論※			教育課程概論※
			兼任	講師	濱田 久美子 (60) <令和3年10月> 修士(教育学)	兼任	講師	濱田 久美子 (61) <令和3年10月> 修士(教育学)	兼任	講師	濱田 久美子 (62) <令和3年10月> 修士(教育学)
					総合的な学習の時間の指導法			総合的な学習の時間の指導法			総合的な学習の時間の指導法
			兼任	講師	池田 誠審 (54) <令和3年10月> 修士(学校教育学)	兼任	講師	池田 誠審 (55) <令和3年10月> 修士(学校教育学)	兼任	講師	池田 誠審 (57) <令和3年10月> 修士(学校教育学)
					特別活動の指導法			特別活動の指導法			特別活動の指導法
			兼任	講師	寺尾 康 (82) <令和2年4月> 理学士	兼任	講師	寺尾 康 (83) <令和2年4月> 理学士			
					数学概論 教育の方法及び技術※			数学概論 教育の方法及び技術※			
			兼任	講師	白川 暎子 (85) <令和3年4月> 家政学修士	兼任	講師	白川 暎子 (86) <令和3年4月> 家政学修士			
					教育の方法及び技術※			教育の方法及び技術※			
			兼任	講師	尾崎 和彦 (53) <令和3年10月> 医学士	兼任	講師	尾崎 和彦 (54) <令和3年10月> 医学士	兼任	講師	尾崎 和彦 (55) <令和3年10月> 医学士
					チーム医療概論※			チーム医療概論※			チーム医療概論※
			兼任	講師	渋谷 祐一 (56) <令和3年4月> 医学博士	兼任	講師	渋谷 祐一 (57) <令和3年4月> 医学博士	兼任	講師	渋谷 祐一 (58) <令和3年4月> 医学博士
					医療リスクマネジメント※			医療リスクマネジメント※			医療リスクマネジメント※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
				兼任	講師	十萬 敬子 (51) <令3年4月> 修士(生活科学)	医療リスクマネジメント※	兼任	講師	十萬 敬子 (52) <令3年4月> 修士(生活科学)	医療リスクマネジメント※	兼任	講師	十萬 敬子 (53) <令3年4月> 修士(生活科学)	医療リスクマネジメント※ がんと栄養療法※
				兼任	講師	西岡 明人 (50) <令3年4月> 医学博士	医療リスクマネジメント※	兼任	講師	西岡 明人 (50) <令3年4月> 医学博士	医療リスクマネジメント※	兼任	講師	西岡 明人 (51) <令3年4月> 医学博士	医療リスクマネジメント※
				兼任	講師	北山 めぐみ (38) <令3年4月> 博士(生活環境学)	住居学(観望を含む)	兼任	講師	北山 めぐみ (39) <令3年4月> 博士(生活環境学)	住居学(観望を含む)	兼任	講師	北山 めぐみ (40) <令3年4月> 博士(生活環境学)	住居学(観望を含む)
				兼任	講師	今井 一雅 (66) <令3年10月> 博士(情報学)	家庭電器・家庭機械	兼任	講師	今井 一雅 (67) <令3年10月> 博士(情報学)	家庭電器・家庭機械	兼任	講師	今井 一雅 (68) <令3年10月> 博士(情報学)	家庭電器・家庭機械
								兼任	講師	三吉 史高 (68) <令4年4月> 工学士	数学概論	兼任	講師	三吉 史高 (68) <令4年4月> 工学士	数学概論
								兼任	講師	小島 一久 (70) <令4年4月> 工学士	敬職及び教育の制度・経営論				
								兼任	講師	岸 康人 (47) <令4年4月> 博士(理学)	教育の方法及び技術※ ICT活用教育の理論と実践	兼任	講師	岸 康人 (48) <令4年4月> 博士(理学)	教育の方法及び技術※ ICT活用教育の理論と実践
								兼任	講師	大谷 俊彦 (61) <令4年4月> 文学士	教育の方法及び技術※	兼任	講師	大谷 俊彦 (62) <令4年4月> 文学士	敬職及び教育の制度・経営論 教育の方法及び技術※
												兼任	講師	伊達 麻 (33) <令和5年4月> 修士(教育学)	社会福祉論 特別支援教育入門※
												兼任	講師	柳川 悦子 (65) <令和5年10月> 修士(経済学)	キャリアデザインⅡ(応用)
												兼任	講師	寺本 男子 (71) <令和5年4月> 博士(栄養学)	臨床栄養学Ⅰ(概論) 臨床栄養学Ⅱ(管理・評価)
												兼任	講師	上京 治彦 (63) <令和5年10月> 修士(農学)	食品加工学実習※
												兼任	講師	久我 隆夫 (61) <令和5年10月> 農学士	食品加工学実習※
												兼任	講師	野村 明 (68) <令和5年10月> 博士(農学)	食品加工学実習※
												兼任	講師	大迫 洋治 (50) <令5年4月> 博士(獣医学)	生命倫理学※
												兼任	講師	西山 謙吾 (65) <令5年4月> 医学博士	生命倫理学※
												兼任	講師	吉川 清志 (71) <令5年4月> 医学博士	生命倫理学※
												兼任	講師	津田 理之 (49) <令和5年4月> 博士(医学)	生命倫理学※
												兼任	講師	奥谷 知明 (52) <令5年4月> 博士(医学)	生命倫理学※



(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和2年度】

・兼任講師が都合により辞退したため、「数学概論」は兼任講師を新たに配置し、「日本語口頭表現」は他の兼任講師の担当とした。  
・教職課程審査の結果、「教育課程総論」「総合的な学習の時間の指導法」「特別活動の指導法」「教育の方法及び技術」に兼任講師を新たに配置した。  
また、「進路指導及びキャリア教育の理論と方法」は他の兼任講師とのオムニバスとした。

【令和3年度】

・兼任講師が都合により辞退したため、「チーム医療概論」「医療リスクマネジメント」「住居学（製図を含む）」「家庭電気・家庭機械」は兼任講師を新たに配置し、「平和と友愛論」は他の兼任講師の担当とした。

【令和4年度】

・令和4年4月吉村幸雄教授就任。令和4年2月教員審査済み。  
・「ICT活用教育の理論と実践」を新規科目として加え、兼任講師を新たに配置した。  
・兼任講師が都合により辞退したため、「数学概論」は他の兼任講師の担当とした。  
・兼任講師が都合により辞退したため、「教職及び教育の制度・経営論」は他の兼任講師の担当とした。  
・兼任講師が都合により辞退したため、「教育の方法及び」は他の兼任講師の担当とした。

【令和5年度】

・令和5年4月徳広干恵教授就任。令和5年2月教員審査済み。  
・令和5年4月吉村亮二講師就任。令和5年2月教員審査済み。  
・令和5年4月坪内美穂子准教授就任。授業は令和5年5月教員審査済みを待って6月から実施予定。  
・兼任講師が都合により辞退したため、「生命倫理学」は兼任講師1から他の兼任講師6の担当（オムニバス）とした。  
・兼任講師が都合により辞退したため、「社会福祉論」「特別支援教育入門」は他の兼任講師の担当とした。  
・「マーケティング論」は担当兼任講師の都合により兼任講師1から兼任講師2の担当とした。  
・兼任講師が都合により辞退したため、「臨床栄養学Ⅰ（総論）」及び「臨床栄養学Ⅱ（管理・評価）」は他の兼任講師の担当とした。  
・兼任講師が都合により辞退したため、「がんと栄養療法」は他の兼任講師の担当とした。  
・兼任講師が都合により辞退したため、「食品加工学実習」は他の兼任講師3の担当とした。  
・兼任講師が都合により辞退したため、「教職及び教育の制度・経営論」は他の兼任講師の担当とした。  
・兼任講師が都合により辞退したため、「キャリアデザインⅡ（応用）」は他の兼任講師の担当とした。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ AC教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織(学科連係課程実施学科)」の設置の場合、大学設置基準第四十二条の三の二(短期大学設置基準第三条の二)に基づく「連係協力学部等(連係協力学科)」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等(連係協力学科)ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
10 名	5 名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。

・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在(報告時)の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
11	4	2	0	17	5	12	4	3	0	19	5
(10)	(3)	(0)	(0)	(13)	(3)						
現在(報告時)の完成年度時の状況						現在(報告時)の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
12	4	3	0	19	5	12	4	3	0	19	5
[ 1 ]	[ 0 ]	[ 1 ]	[ 0 ]	[ 2 ]	[ 0 ]	[ 1 ]	[ 0 ]	[ 1 ]	[ 0 ]	[ 2 ]	[ 0 ]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。

・ 「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。

・ 「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、既に設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、

[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ 1)

・ 「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、

[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ 1)

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(C))の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	10 名	10 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。

・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{19}{17} = \boxed{111.76} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{10}{19} = \boxed{52.63} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{5}{5} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
		該当なし								
合計 (D)						後任補充状況の集計 (E)				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)	③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）」の理由に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	教授	竹市 仁美	R4.3	必修	公衆栄養学Ⅰ(総論)	①	R4.3.31付け自己都合のため辞任(4)			
				必修	公衆栄養学Ⅱ(各論)	①				
				必修	地域公衆栄養学実習	①				
				必修	臨地実習事前・事後指導	①				
				選択	管理栄養士総合演習	①				
				選択	臨地実習Ⅴ(公衆栄養学)	①				
2	准教授	荒木 裕子	R5.3	必修	栄養教育論Ⅰ(基礎)	①	R5.3.31付け自己都合のため辞任(5)			
				必修	栄養教育論Ⅱ(応用)	①				
				必修	栄養教育論Ⅲ(実践)	①				
				必修	栄養教育論実習	①				
				選択	管理栄養士総合演習	①				
				選択	卒業研究	①				
合計 (F)						後任補充状況の集計 (G)				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)	③の合計数 (c)		
2	人	必修	8	科目	必修	8	科目	必修	0	科目
		選択	3	科目	選択	3	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	11	科目	計	11	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について、記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)						
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
2	人	必修	8	科目	必修	8	科目	必修	0	科目
		選択	3	科目	選択	3	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	11	科目	計	11	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D)+(F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{2}{17} = 11.76 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 令和4年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

1 人

(注) ・ (3) -①、(3) -②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。  
・ 令和5年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

専任教員の辞任は年度末であり、教員の補充は今年度の開始までにはできている。ただし、AC教員審査結果を得てからの授業開始としたため、授業は6月から行うこととしている。そのため、6月以降に時間割の調整をしようえで、前期の授業を行う。上記の事項について、学生へは年度初めのオリエンテーションで周知している。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	遵守事項	履 行 状 況	今後の の実施計画
<p>認 可 時 (令和元年)</p>	<p>・設置の趣旨・目的等が生かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、開設時から4年制大学にふさわしい教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。</p>	<p>遵守事項</p>	<p>高知学園大学は、高等教育・研究機関として「世界の平和と友愛」という建学の精神の下、教育・研究活動を通して、人々の健康と幸福に寄与するという使命を帯びている。従って、本学の設置の趣旨に示すように「県民の健康を支える人材づくりに貢献すると共に、進展する医療システムに対応できる人間性や専門的知識を身に付けた専門的職業人の養成」にある。このため、設置計画を着実に履行することに特に留意する。</p> <p>また、教育の充実と共にそれを支える研究活動にさらなる活性化を図る必要がある。そのため、開学年度より、毎年教員には年度当初に研究活動計画書を提出し、年度末には研究活動の成果を示す報告書を提出することを義務付けている。</p> <p>さらに、FD活動、SD活動及び自己点検評価活動を有機的に機能させることにより、教育・研究活動の向上を図る。また、これらのPDCAサイクルを継続的に回すことにより、本学の教育・研究活動を着実に向上させる。(4・5)</p>	<p>履行中</p> <p>研究については、全教員から提出された研究活動計画書を基に、本学の研究について支援の在り方（特に資金面、人的支援面）について検討をさらに進めていく。また、本学の特質である分野の多様性を生かした学際的研究の実施を検討し、学科横断的なテーマによる教育活動に基づく研究の企画・立案を推進し、県民の健康を支える人材づくりに貢献していく。</p> <p>教育については、完成年度を見越して学科ごとに定めているアセスメント・ポリシーに基づいた授業レベル、教育課程レベル及び大学レベルの三つのレベルで教育効果を評価するアセスメントプランを作成し、教育の効果をモニターする。さらに、その成果をFD活動及びSD活動にフィードバックすることにより、FD及びSD委員会が中心となって大学全体として、教育の質を向上させるための活動に取り組みとともに、昨年度から作成している自己点検評価報告書を活用してPDCAサイクルをまわしていく。(4)</p> <p>研究については、令和5年度から「研究推進プロジェクトチーム」を立ち上げ、研究について具体的に支援を進めていくこととしている。また、本学の特質である分野の多様性を生かした学際的研究の実施を検討し、学科横断的なテーマによる教育活動に基づく研究の企画・立案を推進し、県民の健康を支える人材づくりに貢献していく。</p> <p>教育については、学科ごとに定めているアセスメント・ポリシーに基づいた授業レベル、教育課程レベル及び大学レベルの三つのレベルで教育効果を評価するアセスメントプランに基づき、四年間の教育の成果を検証して、次年度以降、さらに教育の質を向上させるための活動に取り組みとともに、自己点検評価報告書を活用してPDCAサイクルをまわしていく。(5)</p>
<p>認 可 時 (令和元年)</p>	<p>・ディプロマ・ポリシーにおける、「食生活や食習慣の課題の改善」を身につける前に課題を把握し分析する能力も必要であるため、「課題の把握・改善」とすること。</p>	<p>遵守事項</p>	<p>ディプロマ・ポリシーについては、「食生活や食習慣の課題の改善」を身につける前に課題を把握し分析する能力も必要であることを学科共通の認識とし、それを踏まえて管理栄養学科のディプロマ・ポリシーの第2項を次のように改めた。(下線部分を追加)</p> <p>(旧) 2 人々の食生活や食習慣に関する課題の改善に取り組む主体性及び多様な人々に対応できるコミュニケーション能力を身につけた者。</p> <p>(新) 2 人々の食生活や食習慣に関する課題の把握・改善に取り組む主体性及び多様な人々に対応できるコミュニケーション能力を身につけた者。(4・5)</p>	<p>履行済</p>
<p>認 可 時 (令和元年)</p>	<p>・校舎の整備計画について、遅滞なく着実に実施するとともに、既設の短期大学の教育研究に支障がないよう適切に対応すること。</p>	<p>遵守事項</p>	<p>校舎の整備計画に沿って、本学の校舎については、新たに8号館を建設し、また、既設の建物も改修工事を行い令和2年2月末までに全ての工事を完了し引き渡しを終えている。</p> <p>これらの工事により、研究室については、新設の大学及び既設の短期大学ともに講師以上の教員に研究室が個室として確保され、また、ゼミ室の大幅な増設、実験・実習室の新設及び改修により、大学にふさわしい教育とともに、十分な研究活動が可能な環境を整備することができた。(4・5)</p>	<p>履行済</p>

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
<p>認 可 時 (令和元年)</p>	<p>・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について着実に実施すること。</p>	<p>本校校法人の教員の定年規定は、職位によらず一律65歳である。管理栄養学科においては、完成年度にその定年を越えている教員数は17名中9名である。定年を越える教員については、再雇用制度を適用して完成年度まで専任教員として雇用できることとしている。後任の補充については、公募や他大学の推薦等のあらゆる手段を講じて若返りを図りたい。(4)</p> <p>本校校法人の教員の定年規定は、職位によらず一律65歳である。管理栄養学科においては、完成年度にその定年を越えている教員数は19名中10名である。定年を越える教員については、再雇用制度を適用して完成年度まで専任教員として雇用できることとしているが、今年度は完成年度であるので、教員の組織編制についての将来構想を立て、実行していかなければならない。(5)</p>	<p>履行中</p> <p>本学は、予定した全教員がそろっている。その中で完成年度に定年あるいは再雇用の期限を迎える教員について、令和4年度は後任の新規採用の計画的実施に具体的に着手していかなければならない。その際、設置基準を踏まえつつ、学科における分野毎の年齢及び職位の構成を考慮していくこととする。(4)</p> <p>本学は、予定した全教員がそろっている。その中で完成年度に定年あるいは再雇用の期限を迎える教員について、令和4年度より後任の新規採用の計画的実施に着手している。今年度はさらに、次年度以降の教員構成について設置基準を踏まえつつ、学科における分野毎の年齢及び職位の構成を考慮して、採用計画を立て、実行に移していく予定である。(5)</p>
<p>認 可 時 (令和元年)</p>	<p>・学生確保の分析データを踏まえると、県内の志願者が必ずしも十分とは言えないため、学生確保を充実させる観点から、県内に留まらず広報活動の充実に努めることが望ましい。</p>	<p>助言事</p> <p>今年度の志願者数は管理栄養学科では67名であり、昨年度(66名)とほぼ同様、一昨年度の77名を下回っている。入学者数は54名と3年連続して定員70名を下回る結果となった。</p> <p>令和3年度の新型コロナウイルス感染症の影響として顕著な事項としては、予定していたオープンキャンパスなどが計画通りできなかったことに加え、本学と比べて学費負担の少ない国公立大学に流れてしまったことがあげられる。全国的な蔓延の影響で、県内外を問わず高校訪問は十分にはできず、募集活動には苦戦をした。高知県から他の県の管理栄養士養成課程への流出も大きくは改善されておらず、本学の入試制度をより広く周知し、定着を図る必要が伺われる。</p> <p>その中あって実績を挙げているのは本学を個別に訪問する企画の推奨であり、感染対策を行いながら、学科及び特徴を詳しく説明することで受験及び入学に結びついている。令和4年度も予想される新型コロナウイルス感染症下において可能な募集戦略を実施していかなければならない。(4)</p> <p>今年度の志願者数は管理栄養学科では72名であり、昨年度(67名)、一昨年度(66名)より向上がみられる。しかし、入学者数は49名と過去最少であり、4年連続して定員70名を下回る結果となった。</p> <p>令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響からの脱却を図り、オープンキャンパスなども感染対策を十分にしながら実施し、高校訪問の機会も増加させてきたが、本学と比べて学費負担の少ない国公立大学や、受験・合格時期が格段に早期に行われる専門学校に流れてしまったことが分析の結果判明してきている。同時に、まだまだ本学・本学科の特徴や魅力が十分に伝わっていない点も反省事項としてあげられる。それらを踏まえた広報活動の充実が必要である。</p> <p>その中あって実績を挙げているのは本学を個別に訪問する企画の推奨であり、丁寧な説明により本学・本学科の魅力が個別に伝えていく努力を今後も続けていく。(5)</p>	<p>履行中</p> <p>今年度は、新型コロナウイルス感染症に配慮しながら、以下のような取り組みを展開することとした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・従来行っている高知県内の高等学校進路担当者向け説明会(会場は県内3カ所)やオープンキャンパスは、内容等を十分に検討した上でこれを実施する。また、管理栄養学科の教育研究内容に沿った地域活動を通して大学の認知度を高め、ブランディング化を図っていくなど、県内の募集活動をより充実したものとする。</li> <li>・四国内の高知県以外の3県の高等学校については、各県で開催される進路相談会等に積極的に参加するとともに、受験実績のある高校を中心に募集活動を行う。</li> <li>・本学科の魅力伝える手段としての個別訪問形式のオープンキャンパスを積極的に実施するとともに、高知市内の会場で本学独自の説明会を実施していく。(4)</li> </ul> <p>今年度は、コロナ禍等により制限付きの活動となったこと等の反省を踏まえて以下のような取り組みを展開することとした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・従来行っている高知県内の高等学校進路担当者向け説明会(会場は県内3カ所)やオープンキャンパスは、内容等を十分に検討した上でこれを実施する。また、管理栄養学科の教育研究内容に沿った地域活動を通して大学の認知度を高め、ブランディング化を図っていくなど、県内の募集活動をより充実したものとする。</li> <li>・四国内の高知県以外の3県の高等学校については、各県で開催される進路相談会等に積極的に参加するとともに、受験実績のある高校を中心に募集活動を行う。</li> <li>・本学科の魅力伝える手段としての個別訪問形式のオープンキャンパスを積極的に実施するとともに、高知市内のみならず、県内の他の地域での本学独自の説明会(「まるごと!学大・学短フェア」)を実施していく。(5)</li> </ul>

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
    - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】  
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「（４）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（５）」と記載してください。
    - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】  
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「（４）（５）」と記載してください。
    - 【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】  
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（５）」と記載してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

<健康科学部 管理栄養学科>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>① 教職専門科目 全20科目から資格取得に必要な単位を修得する。</p>	<p>① 教育職員免許法施行規則等の一部を改正する省令の施行に伴い、教職専門科目に「ICT活用教育の理論と実践」を新たに加え、令和4年度入学生より適用した。</p>

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 高知学園大学では、ファカルティ・ディベロップメント（FD）委員会とスタッフ・ディベロップメント（SD）委員会を設置している。なお、重要議題を総合的に検討する場合は、合同会議を開催することとしている。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） ファカルティ・ディベロップメント（FD）委員会は各学科を代表する教員、スタッフ・ディベロップメント（SD）委員会は、事務職員の代表として各課長・係長、そして教員との協働体制を確立するため、学生部長、教務部長も委員として出席する。FD、SD委員会とも年間1～2回程度開催し、委員はほぼ全員が出席している。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>FD委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ FD活動の企画、実施計画の立案に関すること。</li> <li>・ FD活動の評価に関すること。</li> <li>・ FD活動に関する情報の収集と提供に関すること。</li> <li>・ その他FD活動に関すること。</li> </ul> <p>SD委員会規程第2条より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ SD活動の企画、実施計画の立案に関すること。</li> <li>・ SD活動の評価に関すること。</li> <li>・ SD活動に関する情報の収集と提供に関すること。</li> <li>・ その他SD活動に関すること。</li> </ul> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教職員を対象にしたFD・SDに関する学内研修会</li> <li>・ 教員相互の授業参観と事後検討会</li> <li>・ 授業参観から発見した改善点を実施する公開授業と事後検討会</li> <li>・ 学生による授業アンケート実施と教員による自己分析の報告</li> <li>・ FD・SD活動研究発表会の開催</li> <li>・ 学外研修会参加に関する報告会</li> <li>・ FD・SD活動報告書の刊行 等</li> </ul> <p>b 実施方法</p>
--

「教職員を対象にしたFD・SDに関する学内研修会」については、学外講師を招いた研修会を開催する。新任教員に対しては、新採者オリエンテーションの中でFD活動の方針を説明し、意義の理解を深める。

また、「教員相互の授業参観と事後検討会」では、前期と後期で授業参観として公開する授業を指定し、学科を超えて教職員が当該授業を参観する機会を設ける。授業終了後は事後検討会を開催し、相互の教育実践力向上に努める。

「授業参観から発見した改善点を実施する公開授業と事後検討会」では、授業参観として公開した各教員が1年後に改善点を工夫した授業を公開する。

「学生による授業アンケート」では、各期の授業終了後に教員が退室して事務職員が受講学生へ授業アンケートへの回答を求めるようにしている。アンケートは、ポータルサイトを活用し、回答結果の集計は教務課で取りまとめる。

「FD・SD活動研究発表会の開催」については、本学教職員（非常勤講師含む）がFD活動やSD活動に関する研究発表を行うものである。

「学外研修会参加に関する報告会」は、学外で開催される研修会に出席した教職員が、その内容を報告するとともに、課題の確認と目標の共有を行う。

「FD・SD活動報告書の刊行」については、毎年度実施したFD・SD活動の記録や報告、総合的な考察をまとめ、学内外へ情報を発信する。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

令和5年度新採者オリエンテーションは該当教員を対象に6月に実施する。

授業参観については、感染状況にもよるが今年度は実施予定である。同様に「教員相互の授業参観と事後検討会」「授業参観から発見した改善点を実施する公開授業と事後検討会」も実施に向けて検討していく。

研修会については、8月から9月の夏期休業期間にFD・SD研修会を開催する予定である。また、FD・SD関連フォーラムにも積極的な参加を促す。FD・SD活動研究発表会については、例年8月から9月に開催したが、同時期での開催を計画している。FD・SD活動報告書を令和5年度末に刊行する予定である。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

新型コロナウイルス感染予防対策に伴う授業参観及びその後の懇談会が開けなかったため、現在は授業アンケートを基とした授業改善に各教員が取り組んでいる。なお、感染予防に伴って工夫を図った授業の取り組みを報告しあいながら共有することで、コロナ禍における授業改善を推進するよう取り組んでいる。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

各科目の授業終了後にwebにより実施した。

b 教員や学生への公開状況、方法等

授業アンケートの集計結果（自由記述含む）は、各担当教員へフィードバックを行う。集計結果は事務局教務課で公開し、教員も学生も閲覧することを可能とする。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制 該当なし

a 委員会の設置状況

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況 該当なし

a 審議した内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

#### (4) 自己点検・評価等に関する事項

##### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

令和2年4月、高知学園大学は、食と医療の分野から地域の健康を支援する人材を育成するために開学し、今年度は完成年度を迎える。新型コロナウイルス感染予防対策のため、入学直後よりその対応が続いているが、その間も対面授業を基本として授業を実施してきた。本学は新型コロナウイルス対策を徹底的に実行しているが、学生は管理栄養学科、臨床検査学科それぞれの専門分野が果たす責任感をそのことによって学び、学習意欲を高め、専門職に就くことの心構えを醸成できている。今後は、「日本一の健康長寿県構想」を掲げる高知県で学習する経験を通して、健康増進と病気の予防に対応できる専門知識・技術、科学的根拠に基づく判断による実践力、健康的な生活を支援するための責任感と倫理観等を備え、多職種の専門性とその価値を尊重し、協働することのできる人材を社会へ輩出する。

##### ② 自己点検・評価報告書

###### a 公表（予定）時期

毎年度、自己点検・評価報告書を作成して公表する予定である。令和4年度の自己点検・評価については、令和5年10月1日頃に公表する計画である。

###### b 公表方法

認証評価機関の評価基準に基づいて自己点検・評価報告書を作成し、冊子および本学ウェブサイトにて公表する。

##### ③ 認証評価を受ける計画

完成年度以降に認証評価機関の評価を受けるべく検討する。現在、加盟する認証評価機関を検討中である。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

#### (5) 情報公表に関する事項

##### ○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）

a 公表予定の有無 [  有 ・  無 ]

《 a で「有」の場合 》

b 公表（予定）時期 [ 調査結果公表後1ヶ月以内 ・  公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降 ]

c 公表方法 [  ウェブサイトへの掲載 ・  その他 ( ) ]

《 a で公表「無」の場合 》

d 公表しない理由 [ ( ) ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。